Ⅳ　分野別計画

【市政のしくみ】

1　市民参加の取組み

市民の豊かな知識や社会経験を市政に生かすため、市の施策に対し市民が意見や提案をする手続です。

（1）パブリックコメント手続

市の重要な施策を決定する際に、施策案を公表して広く市民の意見を募集し、提出された意見を考慮して施策を決定するとともに、意見に対する市の考え方を公表する手続です。

番号	項　目	概　　要	実施時期（意見募集）	意見提出者数（人）	意見数（件）	所管課
1	千葉市個人情報保護条例及び千葉市個人情報保護条例施行規則の一部改正	要配慮個人情報を定義するとともに、個人情報の提供に係る手続を改めるなど、当該条例等を一部改正した。	12月～1月	2	4	総務局 政策法務課
2	政策評価制度の再構築	新基本計画に掲げるまちづくりを推進するため、計画事業の進捗等を踏まえた指標の分析・考察を行い、行政課題を抽出する政策評価について、制度を再構築した。	5月	1	1	総合政策局 政策企画課
3	千葉市まち・ひと・しごと創生　人口ビジョン・総合戦略の改訂	2015年国勢調査の結果をはじめとする各種統計データの更新など、本市を取り巻く状況の変化にあわせ、「人口ビジョン・総合戦略」を改訂した。	11月～12月	4	6	総合政策局 政策企画課
4	千葉開府900年に向けたロードマップの策定	1126年に千葉常重が亥鼻に本拠を構えたことから本市としての歴史が始まったと言われており、2026年には千葉開府900年という大きな節目を迎えることから、本市の地域資源の一つである「千葉氏」に係るＰＲ活動を戦略的に展開するためのロードマップを策定した。	2月～3月	4	11	総合政策局 都市アイデンティティ推進課

（２）公募委員を含む附属機関

附属機関とは、法律や条例に基づいて設置する審議会などをいいます。公募による市民が委員に加わる附属機関において施策の調査、審議等を行うことを市民参加手続として捉えています。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	委員数（人）	うち公募委員数（人）	所管課
1	情報公開・個人情報保護審議会	情報公開の推進及び個人情報の保護を図るため、情報公開及び個人情報の保護に関する重要事項等について調査審議した。 （委員10人中2人が公募委員）	8月	1	10	2	総務局 政策法務課
2	新基本計画審議会	新基本計画のまちづくりを推進するため、まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組状況について審議した。 （委員12人中1人が公募委員）	6月 9月 10月	4	12	1	総合政策局 政策企画課
3	資産経営推進委員会	資産経営の取組みを推進するため、計画等の更新・見直しや資産の総合評価等に関する事項について審議した。 （委員8人中2人が公募委員）	10月 12月 2月	3	8	2	財政局 資産経営課

（３）ワークショップ

市民と職員、あるいは市民同士が、議論や作業を重ねながら意見をまとめていく会合をいいます。参加者が対等な立場で自由に意見を出し合い、お互いの考えを尊重しながら合意形成していきます。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
1	**シェアリングエコノミーの推進**	東京2020大会を契機に、来街者に対する市民等によるおもてなしの一つの形態として、ホームシェアやガイドサービスなどのシェアリングエコノミーを活用したサービス提供に向けた取組みを実施した。 ・シェアリングエコノミー推進のためのワークショップ等の開催	2月	1	28	総合政策局 国家戦略特区推進課

（4）意見交換会

市民と職員、あるいは市民同士が市の施策について意見を交換する手続です。また、施策に対する市民の理解を得るために行う説明会の中で、意見の聴取や意見の交換を行うものもあります。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
1	外国人市民懇談会	今後の国際化施策の参考とするため、市内に居住する外国人市民等と意見交換を行った。 対象：公募による外国人市民、関係団体の日本人市民	11月	1	13	総務局 国際交流課

（6）アンケート調査

市の施策に対する市民の意向を把握するために行う調査です。「意見募集」のように自由に意見を述べるものではなく、あらかじめ設定された質問に答える形式で行うものです。

番号	項　目	概　　要	実施時期	対象者数（人）	回答者数（人）	回答率（%）	所管課
1	千葉市まちづくりアンケート	平成30年度に再構築した政策評価制度にもとづき、生活についての実感や日頃の行動などについて把握するため、アンケートを実施した。 対象：市民	9月～10月	10,000	3,398	34	総合政策局 政策企画課

２　協働の取組み

市民と市が力を合わせて様々な公共の課題を解決するものです。

（２）共催

市民と市が共に主催者（事業の実施主体）となって、事業を実施するものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	ちば市国際ふれあいフェスティバル	国際交流・国際協力への理解と関心を促進するとともに、団体同士のネットワークを構築するため、市やボランティア団体等と国際交流協会による運営協議会が、展示やパフォーマンスを行うフェスティバルを開催した。	平成6年度	2月3日に実施 出展団体：19団体 来場者数：約900人	ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会（事務局：（公財）千葉市国際交流協会）	参加者、観覧者の募集、企画、運営	運営協議会に参加、出展、広報の協力	0	総務局 国際交流課
2	千葉氏サミット	千葉氏ゆかりの市町村の交流機会の創出や、千葉氏の市民への啓発活動を通じて、広く地域活性に寄与するため、千葉市、千葉氏顕彰会、千葉商工会議所、千葉市観光協会等で構成する実行委員会主催により千葉氏サミットを開催するとともに、騎馬武者行列などの関連イベントを実施した。	平成28年度	5月26～27日に実施 来場者：約7,200人(関連イベント含む)	千葉氏顕彰会など	企画、準備、運営など	負担金の支出、観覧者募集、企画、準備、運営など	2,687	総合政策局 都市アイデンティティ推進課
3	**千葉がもっと好きになるエキナカミルトル**	千葉市の都市アイデンティティ、地域のトレンドを取り入れた地域活性化に繋がる展示会を開催した。	平成30年度	6月28日～30日及び8月24日～26日実施	㈱千葉ステーションビル	展示パネル等の作成、販促物の制作、会場の運営等	画像等の提供・権利確認、着ぐるみの貸与、展示及び試着用甲冑等の提供	0	総合政策局 都市アイデンティティ推進課
4	**千葉振舞（千葉氏PRうちわの無料配布）**	千葉の歴史や文化・伝統を未来へつなげていくため、「千葉氏」の認知度向上を図ることを目的に、千葉氏と北斗の拳のコラボうちわを親子三代夏祭りにおいて、無料配布した。	平成30年度	8月19日に実施 配布枚数1,000枚	千葉市中心市街地まちづくり協議会	うちわのデザイン、制作、配布	北斗の拳のデザイン使用契約、ライセンス業者との連絡調整等	0	総合政策局 都市アイデンティティ推進課
5	千葉市・千葉大学公開市民講座「千葉氏とアイデンティティ―軍記物語の語るもの、近代の人々のいとなみ」	千葉市固有の地域資源のひとつである「千葉氏」の物語と歴史を共有していく場として、千葉大学と共催し市民向けの公開講座を開催した。	平成29年度	2月9日に実施 来場者数：230人	国立大学法人千葉大学	会場設営、司会進行	広報、受付（業者に業務を委託）	821	総合政策局 都市アイデンティティ推進課 郷土博物館

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
6	**「ぼくのわたしのちばしじまん　４つのたからもの」原画展**	絵本の魅力を知ってもらうとともに、千葉市固有の4つの地域資源の理解を促進するため、地域資源の魅力を紹介するために作成したこども向けの絵本「ぼくのわたしのちばしじまん４つのたからもの」の原画展を開催した。	平成30年度	1月14日～30日実施	こまちだ　たまお（絵本作家）	原画、展示用備品の提供等	会場の確保、設営等	―	総合政策局 都市アイデンティティ推進課

（３）事業協力

市民と市が相互の役割分担を定め、協力して事業を実施するものです。ただし、「共催」に該当するものは除きます。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	災害時避難行動要支援者支援体制の構築	災害発生時における高齢者や障害者等の避難行動要支援者の安全を確保するため、「避難行動要支援者名簿に関する条例」に基づき、避難行動要支援者名簿情報を町内自治会等に提供し、地域と協力して、安否確認や必要な情報提供、避難支援を行う体制の構築に取り組んだ。	平成22年度	284団体 （H31年3月末時点）	町内自治会、マンション管理組合、自主防災組織	避難行動要支援者の支援体制構築	名簿提供	0	総務局 防災対策課 各区役所 地域振興課

（４）支援・補助

市民が自発的・自主的に行う事業に対し、市が物的支援や財政的支援などを行うものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
1	自主防災組織育成	自主防災組織の育成や活動の促進を図るため、組織の新規設置、防災資機材の購入および賃借、防災訓練の実施に対し助成した。 防災ライセンススキルアップ講座の修了者のうち、防災アドバイザーとして活動する意向のある者を休眠団体などへ派遣し、講義や訓練指導等を行った。 根拠要綱等：自主防災組織助成要綱、自主防災組織育成指導要綱	昭和54年度	設置助成：5団体 資機材助成：54団体 資機材再助成：16団体 活動助成：32,242人	自主防災組織	8,863	総務局 防災対策課 各区役所 地域振興課
2	避難所運営委員会の活動支援	避難所運営委員会の活動を支援するため、訓練や会議等に要する経費を補助したほか、新たに内容を見直した「避難所開設・運営マニュアル」を各避難所運営委員会へ配布した。 根拠要綱等：避難所運営委員会活動支援補助金交付要綱	平成27年度	避難所運営委員会活動支援補助金：115団体 地域運営交付金：35団体	避難所運営委員会	3,315	総務局 防災対策課 各区役所 地域振興課

4　市民と職員の意識向上と人材育成

市民参加・協働を着実に推進するため、市民と職員の意識向上と人材の育成に取り組むものです。

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
1	国際交流ボランティア育成	本市の国際化の推進及び東京2020大会（2020年東京オリンピック・パラリンピック）に向けて、増加が見込まれる海外からの訪問者の受入体制を整備するため、国際交流（通訳）ボランティア育成のための講座等を実施した。 対象：市民等	平成27年度	4月～3月	スキルアップ講座：5 フォローアップ講座：2 リーダー会議：6	スキルアップ講座：延べ84 フォローアップ講座：延べ98 リーダー会議：延べ106	総務局 国際交流課
2	防災リーダー研修会	住民の防災意識向上のため、防災に関する専門家の講演を行った。 対象：防災に関心がある方	平成元年度	3月	1	670	総務局 防災対策課
3	防災ライセンス講座及び防災ライセンススキルアップ講座	自助・共助による地域の防災力の向上を図るため、防災・減災に必要な知識や技術を持ったリーダーを養成するための講習会を開催した。 対象：防災ライセンス講座は、防災に関心がある方 スキルアップ講座は、防災ライセンス講座修了者 **託児サービス有 ※一部のみ**	平成26年度（スキルアップ講座は平成29年度）	10月～12月	防災ライセンス講座：5 防災ライセンススキルアップ講座：2	防災ライセンス講座：197 防災ライセンススキルアップ講座：129	総務局 防災対策課
4	職員研修「市民主体のまちづくり」	市民ニーズが複雑・多様化する中、市民視点で地域の課題に取り組むことが必要であることから、市の取組事例等を通して、市民参加と協働の基本的な考え方を学ぶ研修を実施した。 対象：新規採用職員、新規経験者採用職員、新規採用技能員	平成22年度	4月	2	152	総務局 人材育成課
5	職員研修「わたしから始まるまちづくり」	市民ニーズが複雑・多様化する中、市民視点で地域の課題に取り組むことが必要であることから、主査級職員として、職員一人ひとりが地域活動の担い手であるとの認識を高めるため、職員研修を実施した。 対象：４級昇格直後の職員	平成25年度	4月	1	98	総務局 人材育成課
6	職員研修「協働コーディネート力養成研修」	地域の様々な資源（人・企業・団体など）を連携させながら、それぞれに適した活躍の場を提供していくために必要なコーディネート力について学習するとともに具体的手法を取得する研修を実施した。 対象：希望する職員	平成23年度（平成28年度は研修名を変更して実施）	12月	2	67	総務局 人材育成課

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
7	職員研修「住民協働推進研修」	住民協働の考え方や、協働を実現させるための体系的な仕組みを学ぶ研修に職員を派遣した。 対象：希望する職員	平成29年度	11月	1	9	総務局 人材育成課
8	職員研修「コミュニティづくりを核とした地域政策」	ボランティアやＮＰＯ・自治会等と行政との連携、地域運営組織の仕組みや持続的運営方法等に関する講義により、住民との協働を通じた新しい地域づくりを推進する能力の向上を図る研修に職員を派遣した。 対象：希望する職員	平成29年度	1月	1	1	総務局 人材育成課
9	「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座	東京2020大会の開催を見据え、外国人観光客等が安心して滞在できる環境を整えるため、街中で困っている外国人を見かけた際などに簡単な外国語で積極的に声をかけ、道案内等の手助けをするボランティアを育成した。 対象：県内在住・在勤・在学の15歳（中学生を除く）以上の方	平成29年度	6月～9月	10	448	総合政策局 オリンピック・パラリンピック振興課
10	**東京2020大会都市ボランティア募集・育成**	東京2020大会時に競技会場外で内外からの観光客等に対し、観光・交通案内等を行うボランティアを募集し、育成した。 対象：研修参加可能な方、2020（令和2）年4月1日時点で満18歳以上の方	平成30年度	4月～3月	17	101	総合政策局 オリンピック・パラリンピック振興課
11	**都市ボランティアの公開講座**	中学生・高校生に都市ボランティアに関する講義を実施し、理解促進及びボランティア文化の醸成を図った。 対象：市立中学校・高校	平成30年度	9月～1月	26	4,083	総合政策局 オリンピック・パラリンピック振興課
12	**シェアリングエコノミーの推進**	東京2020大会を契機に、来街者に対する市民等によるおもてなしの一つの形態として、ホームシェアやガイドサービスなどのシェアリングエコノミーを活用したサービス提供に向けた取組みを実施した。 ・ホームシェアホスト･ガイド向け説明会･研修会の開催	平成30年度	2月	2	59	総合政策局 国家戦略特区推進課

【市民生活】

1　市民参加の取組み

市民の豊かな知識や社会経験を市政に生かすため、市の施策に対し市民が意見や提案をする手続です。

（1）パブリックコメント手続

市の重要な施策を決定する際に、施策案を公表して広く市民の意見を募集し、提出された意見を考慮して施策を決定するとともに、意見に対する市の考え方を公表する手続です。

番号	項　目	概　　要	実施時期（意見募集）	意見提出者数（人）	意見数（件）	所管課
1	千葉市市民参加及び協働に関する条例の改正	市民が主体となって地域の実情に合ったまちづくりに取り組み、「将来に引き継ぎたいと思えるまち」を実現するため、条例を改正し、市民自治に関し基本的な事項を定める。その改正にあたり、パブリックコメントを実施した。	3月～4月	2	9	市民局 市民自治推進課

（2）公募委員を含む附属機関

附属機関とは、法律や条例に基づいて設置する審議会などをいいます。公募による市民が委員に加わる附属機関において施策の調査、審議等を行うことを市民参加手続として捉えています。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	委員数（人）	うち公募委員数（人）	所管課
1	市民参加協働推進会議	本市の市民参加・協働を推進するため、市民参加・協働実施計画の策定に関する事項、市民参加・協働実施計画の実施状況に関する事項及びその他市民参加及び協働に関する事項について調査審議した。 （委員10人中2人が公募委員）	8月 10月 12月 1月 3月	5	10 ※第5回のみ11	2 ※第5回のみ3	市民局 市民自治推進課

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	委員数（人）	うち公募委員数（人）	所管課
2	文化芸術振興会議	本市の文化行政施策を推進するため、文化行政施策に関する事項、文化芸術振興計画に関する事項及びその他文化行政に関する事項について審議した。 （委員10人中2人が公募委員）	6月 12月	2	10	2	市民局 文化振興課
3	スポーツ推進審議会	本市のスポーツ振興を目的として、スポーツの推進に関する重要事項について審議した。 （委員10人中1人が公募委員）	7月 3月	2	10	1	市民局 スポーツ振興課
4	男女共同参画審議会	男女共同参画社会の実現を目指し、男女共同参画社会の形成に向けた取組みの進捗状況等について審議した。 （委員15人中2人が公募委員）	6月 12月	2	15	2	市民局 男女共同参画課
5	消費生活審議会	本市の消費者施策を推進するため、市民の消費生活の安定と向上に関する重要な事項について調査審議した。 （委員13人中1人が公募委員、ほかアドバイザー2人）	3月	1	13	1	市民局 消費生活センター

（4）意見交換会

市民と職員、あるいは市民同士が市の施策について意見を交換する手続です。また、施策に対する市民の理解を得るために行う説明会の中で、意見の聴取や意見の交換を行うものもあります。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
1	千葉市民活動支援センター運営協議会	利用の促進方策、事業の企画及び実施など、センターの運営をより良くするため、登録団体に所属する市民が意見交換を行った。 構成員：センター登録団体に所属する市民	5月 7月 9月 11月 1月 3月	6	延べ35	市民局 市民自治推進課

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
2	ランチ・ミーティング	市長室や市政を身近に感じてもらい、開かれた市長室を目指すとともに市政をより深く理解してもらうため、団体の活動内容や市政について意見交換を行った。 対象：市内で定期的に活動を行っている団体	毎月1回	12	延べ75	市民局 広報広聴課
3	市長との対話会	今後の市政運営に活かすため、テーマを設定し、市長と市民が意見交換を行った。 対象：千葉市政に関心のある方	5月 11月	6	延べ200	市民局 広報広聴課
4	市長との対話会 （ツイッター版）	今後の市政運営に活かすため、テーマを設定し、市長と市民がツイッターを利用して、意見交換を行った。 （「市長との対話会」のインターネット版） 対象：千葉市政に関心のある方	5月 11月	2	延べ559	市民局 広報広聴課
5	市長の出前講座	市民に市政を身近に感じてもらうとともに市政をより深く理解してもらうため、市長が市民の集会・会合等に出向き、市政に関するテーマに沿って説明し、直接対話をした。 対象：市内在住・在勤・在学の概ね20人以上が参加する集まり	5月 11月	8	延べ231	市民局 広報広聴課
6	市政出前講座	市民に市政を身近に感じてもらうとともに市政をより深く理解してもらうため、市の施策や事業について説明し、市民と意見交換を行った。 対象：市内在住・在勤・在学の概ね20人以上が参加する集まり	随時	139	延べ 5,418	市民局 広報広聴課
7	市長の出前トーク	今後の市政運営に活かすため、市長自らが市内の施設利用者、市の事業参加者等のもとへ出向き、自由に意見交換を行った。 対象：市民等	11月 1月	2	延べ38	市民局 広報広聴課
8	男女共同参画センター利用者懇談会	施設の利用やセンターの行事について円滑な運営の参考とするため、センターの利用経験がある市民を公募し、意見交換を行うとともに、センターの広報活動や主催事業に協力していただいた。 構成員：公募市民 託児サービス有	2月	1	8	市民局 男女共同参画課

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
9	美浜区高校生連携会議	区内での高校生による地域活動を推進するため、区内在学の高校生による連携会議を運営し、意見交換を行った。 対象：区内在学の高校生	4月～3月	16	延べ295	美浜区役所 地域振興課

（6）アンケート調査

市の施策に対する市民の意向を把握するために行う調査です。「意見募集」のように自由に意見を述べるものではなく、あらかじめ設定された質問に答える形式で行うものです。

番号	項　目	概　　要	実施時期	対象者数（人）	回答者数（人）	回答率（%）	所管課
1	区役所窓口満足度調査	市民との接点における区役所職員の応接の改善を図り、さわやかで心の通う市民サービスを提供するため、窓口を訪れた市民を対象にアンケート調査を実施した。 対象：区役所来庁者	2月	―	1,140	―	市民局 区政推進課
2	ＷＥＢアンケート	短期間で精度の高い市民意識等を把握し、施策等に反映するため、インターネットを通して、アンケート調査を実施した。 対象：市民等	毎月	―	平均回答者数：680	―	市民局 広報広聴課

（7）その他の市民参加手続

その他の市民参加手続として、次のものを実施しました。

番号	項　目	概　　要	実施時期	意見数（件）	所管課
1	市長への手紙等	市政に関する要望、提案、意見等を市民や団体から市長あてに提出する制度。専用封筒と便せんを区役所、公民館等に備え付け受け付けるほか、電子申請でも受け付けた。	通年	1,604	市民局 広報広聴課
2	市ホームページの編集／提案機能	市ホームページをより使いやすく分かりやすいものにするために、該当する各ページを編集して、改善提案をすることができる制度において提案を受け付けた。	通年	14	市民局 広報広聴課

２　協働の取組み

市民と市が力を合わせて様々な公共の課題を解決するものです。

（１）委託

地域の実情に合わせ、事業を円滑に実施するため、ノウハウを有する市民等に実施いただくものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手		市事業費（千円）	所管課
					団体名など	選定方法		
1	町内自治会への行政事務委託	行政文書等の回覧・配布等を効果的に行うため、地域住民間での情報伝達手段を持つ町内自治会に委託した。	昭和45年度	回覧等 各区合計44件	各町内自治会	随意契約	116,867	市民局 市民自治推進課
2	運動広場管理運営事業	市民の体力向上と健康維持を図るため、手軽にできるスポーツ・レクリエーションの場として設置している運動広場(18か所)の日常的な管理運営を、運動広場の利用団体や近隣住民等で構成される運動広場管理運営委員会に委託した。	昭和52年度	運動広場：18ヶ所 利用者数：161,038人	各施設ごとに設置されている運動広場管理運営委員会	利用団体、地元町内会、PTA役員などで構成する運営委員会を設置し管理運営の委託契約を締結	2,700	市民局 スポーツ振興課 各区役所 地域振興課
3	学校体育施設開放運営事業	体力づくり及びコミュニティ活動を図るため、市民に開放する市内の小・中学校の校庭・体育館・武道場の運営を、利用団体や地域の各種団体代表等により構成される学校体育施設開放運営委員会に委託した。	昭和41年度	小学校（校庭・体育館）111校 利用者数：1,963,477人 中学校（校庭・体育館・武道場）54校 利用者数：291,245人	各学校ごとに設置されている学校体育施設開放管理運営委員会	利用団体、地元町内会、PTA役員などで構成する運営委員会を設置し管理運営の委託契約を締結	12,671	市民局 スポーツ振興課
4	救急車の適切な利用の促進	救急車の不適切な頻回利用を抑制するため、地域の中での見守りや居場所づくりの体制を構築する事業をＮＰＯ法人に委託した。	平成27年度	電話相談・サロン（居場所作り）の実施 ・頻回利用者数：45人（H30.4）→18人（H31.3） ・頻回利用者要請回数：656回（H30.4）→484回（H31.3）	NPO法人VAICコミュニティケア研究所	市民公益活動の支援を目的とするNPO法人を対象に募集し、企画提案を審査して選定した。	1,153	消防局 救急課
5	地域における建物の防火安全性の向上	千葉市中央地区商店街協議会と協働し、協議会に属する地域の建物の防火安全性及び地域の防災力を向上させるため、防火パトロール及び防火推進員養成講座の事業を千葉市中央地区商店街協議会に委託した。	平成28年度	防火・防犯パトロール：93回、474人 防火推進養成講座：2回、21人	千葉市中央地区商店街協議会	地域の商店街組合等の一定規模単位を対象に募集し、企画提案を審査して選定した。	998	消防局 予防課

（2）共催

市民と市が共に主催者（事業の実施主体）となって、事業を実施するものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	市民法律講座	市民の法知識が向上する一助となるよう、千葉県弁護士会との共催で、市民生活に身近な法律問題を題材とした講座を開催した。	昭和53年度	3月9日に実施 参加者数：60人	千葉県弁護士協会	企画、講座資料作成、講師	会場の用意、ポスター・チラシ作成、周知	103	市民局 広報広聴課
2	市民芸術祭	市民文化の向上と芸術文化の振興を図るため、千葉市文化連盟との共催で、市内の芸術文化団体の日頃の諸活動の成果の発表を行う芸術祭を開催した。	昭和46年度	2月23日～3月31日に実施、出演団体14団体（15事業、1協賛事業） 観覧者数：29,507人	千葉市文化連盟	参加者、観覧者の募集、企画、運営	補助金の支出、広報	3,932	市民局 文化振興課
3	おススメカルチャー・プラットフォーム	高校生を中心に、発表の機会や技術向上の場を提供することで、若者の文化芸術活動の底上げを図り、普及、発展させることを目的としたする。高校生バンドに対し、市内スタジオの協力のもと練習メニューを提供し、練習からライブまでをセットとした音楽イベント「Ｃフェス2019」を実施した。	平成28年度	2月17日にライブハウスSTARNITEにて実施。 出演者：52人 観客：110人	Ｃフェス実行委員会	企画運営全般	負担金の支出、広報の協力、関係機関との連絡調整	929	市民局 文化振興課
4	チバリアフリーアートプロジェクト	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、文化的なアプローチから共生社会の実現を目指すため、ファッションやダンスパフォーマンスなどを通じて、健常者と障害者が一緒になって楽しむことができるイベントを実施した。	平成28年度	1月31日～2月3日にイオンモール幕張新都心にて実施。 出演者数：67人 スタッフ数：89人 来場者数：約2,250人	チバリアフリーアートプロジェクト実行員会	企画運営全般	負担金の支出、広報の協力、床材の借用等	4,548	市民局 文化振興課
5	メディア芸術振興事業	将来の文化を担う子どもや若者を主な対象として、メディア芸術に関する人材育成、普及啓発などの事業を実施した。 【ななめな学校】 アーティストやクリエイターを先生として、「ななめな」ものの見方を体験し、新しい表現に挑戦するメディアアートワークショップ「ななめな学校」を実施。 【PLAY THE WHEELS】 スポーツ用の車椅子に、スピーカーやＬＥＤをつなげた特別な「クルマイス」を使って音や光の変化を楽しめる体験型メディアアートを実施。	平成26年度	【ななめな学校3】 11月10日、11日、12月1日、2日、はまのわ（※旧高浜第二小学校）および鎌取コミュニティセンターで実施。 講師、スタッフ延べ84人、参加者延べ441人 【PLAY THE WHEELS】 8月25日、26日にイオンモール幕張新都心イオンホール内で実施。 講師・スタッフ延べ28人、参加者延べ1,804人	千葉市メディア芸術振興事業実行委員会	企画運営全般	負担金の支出、広報の協力、各所との調整等	3,982	市民局 文化振興課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
6	オーディション「ＧＯ ＴＯ ＪＡＰＡＮ　ＪＡＭ」	千葉市の音楽文化の振興を図ることを目的に、株式会社ベイエフエムが主催するロックフェス「ＪＡＰＡＮ　ＪＡＭ」に、千葉市に在住、在学又は在勤の若者が出演できる場を設けることとし、そこに出場できるバンドを選出するためのオーディションを実施した。	平成30年度	ライブハウスSTARNITEにて6組の公開オーディションを実施。3組の出場バンドが決定	bayfm	運営全般	委託料の支出、広報の協力等	1,080	市民局 文化振興課
7	スポーツ・レクリエーション祭	子どもからお年寄りまで、いつでも、どこでもできるスポーツ・レクリエーションを楽しむことを目的に、市内の団体の代表による実行委員会との共催で、スポーツ・レクリエーション祭を実施した。	平成6年度	11月開催 参加者数：4,476人	千葉市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会	参加者の募集、企画、運営	負担金の支出	958	市民局 スポーツ振興課
8	スポーツ振興会連絡協議会事業	地域におけるスポーツの振興を図るため、地域のスポーツ（社会体育）振興会の代表による連絡協議会との共催で、体育の日を中心に市民体育祭を、また年間を通して各種スポーツ大会やスポーツ教室等を実施した。	昭和52年度	市民体育祭 5月～3月に実施 参加者数：46,005人 各種スポーツ大会・教室 4月～3月に実施 参加者数：38,384人	千葉市スポーツ振興会連絡協議会	参加者の募集、企画、運営	負担金の支出	5,190	市民局 スポーツ振興課
9	体育協会事業	市民スポーツの振興及び普及と競技力の向上を図るため、千葉市体育協会との共催で、市民総合体育大会、種目別市民体育大会、千葉県民体育大会選手派遣を実施した。	昭和22年度	市民総合体育大会 4月～3月に実施 参加者数：20,111人 種目別体育行事 4月～3月に実施 参加者数：38,561人	千葉市体育協会	参加者の募集、企画、運営	負担金の支出	8,490	市民局 スポーツ振興課
10	少年スポーツ連盟事業	少年スポーツの普及発展のため、千葉市少年スポーツ連盟との共催で、スポーツ大会(中央大会、種目別大会)を実施した。	昭和52年度	中央大会、種目別大会 8月～11月に実施 参加者数：20,462人	千葉市少年スポーツ連盟	参加者の募集、企画、運営	負担金の支出	2,210	市民局 スポーツ振興課
11	男女共同参画センターまつり	千葉市男女共同参画週間（12月）にあわせ「男女共同参画センターまつり」を開催するため、公募による市民が実行委員を務め、男女共同参画センターと協働でイベントの企画・運営を行った。 **託児サービス有** **※日時によっては利用不可**	平成12年度	11月17日～12月9日に実施、主催企画12企画、市民団体企画22企画 参加人数：3,776人	千葉市男女共同参画センターまつり実行委員会	千葉市男女参画センターまつりの企画、運営	講師料や会場費などの支出、広報の協力	指定管理料に含まれる	市民局 男女共同参画課
12	<u>緑区自主企画事業 まちカフェライブ</u>	芸術文化の交流を通じて区民相互の交流・ふれあいによる地域の活性化を図るため、地域住民で構成する実行委員会との共催で、区内の飲食店等を会場にまちカフェライブを開催した。	平成25年度	10月14日開催 17会場、900人	まちカフェライブ実行委員会 アートタウンおゆみ野	参加者・ボランティア・店舗会場参加店舗の募集や交渉、会場運営等	補助金の支出、広報の協力等	362	緑区役所 地域振興課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
13	美浜区自主企画事業 美浜区の魅力創出・発信	『美浜が好き』という意識の浸透や区の魅力発信と向上、地域の団体間の交流の活性化のため、地域活性化に関心を持つ地域の団体・学生と共に、実行委員会「ＭｏＴＴＯプロジェクトチーム」として、区に愛着を持つきっかけづくりや集客を見込めるような取組みを企画立案・実施した。	平成28年度	①主催企画 開催日：11月11日 来場者数：約1,300人 ボランティア団体７団体 ②共催企画 開催日：8月12日 来場者数：87人 スタッフ数：71人	MoTTOプロジェクトチーム	企画、運営、ブース出店、チラシ作成	負担金支出、企画、運営、広報・宣伝活動	636	美浜区役所 地域振興課

（３）事業協力

市民と市が相互の役割分担を定め、協力して事業を実施するものです。ただし、「共催」に該当するものは除きます。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	平和啓発事業	戦争の悲惨さや平和の大切さを知ってもらうため、市民と協力して、平和の折り鶴の作成、戦跡めぐりウオーキング等を実施した。	平成14年度	①戦跡めぐりウオーキング：参加者数：21人 ②平和の折り鶴送呈：18万羽 （作業ボランティア数：延べ56人）	市民、ボランティア	①戦跡めぐりウオーキング：講師 ②平和の折り鶴送呈：折り鶴作成、千羽鶴に束ねる作業	①戦跡めぐりウオーキング：広報・募集・運営 ②平和の折り鶴送呈：広報・募集・送呈	①戦跡めぐりウオーキング：20 ②平和の折り鶴送呈：28	市民局 市民総務課
2	市民の日関連事業	「市民の日」の定着及び市民の郷土を愛する心を育み、市民意識の高揚を図るため、民間事業者と協力して、10月18日の「市民の日」を中心に様々な行事を実施した。	平成10年度	協賛行事：9団体による9行事 公共施設の無料開放：31施設（文化施設4施設、体育施設27施設）	㈱オニオン新聞社	行事の企画、実施、広報（企業や団体等への協力依頼、ＨＰやリーフレットの作成等）	関連行事及び公共施設所管課への協力依頼、各種広報等	—	市民局 市民自治推進課
3	千葉市を美しくする運動推進事業	「千葉の親子三代夏祭り」を始めとした、美しいまち、ふれあいのあるまちづくりを目的として実施する諸事業を、「千葉市を美しくする会」等と協力して行った。	昭和38年度	花壇づくり事業、ひまわりいっぱい運動、きれいなまちづくり事業、ポイ捨てやめようキャンペーン、親子凧作り教室、凧あげ大会、昔遊びイベント、親子三代夏祭り等	千葉市を美しくする会	会議への出席、事業の企画・実施等	補助金交付、事務局業務等	5,095	市民局 市民自治推進課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
4	地域防犯ネットワーク推進	地域を見守り、犯罪を抑止するネットワーク作りを進めるとともに、防犯意識の向上を図り、安全で安心なまちづくりを進めるため、市民、事業者及び警察と連携し、防犯啓発キャンペーンを実施した。	平成18年度	街頭啓発の実施 連絡会議の開催	「千葉市内の防犯への協力に関する覚書」締結団体（60団体）	防犯活動、通報	情報提供、防犯ステッカー配付等	124	市民局 地域安全課
5	ちば市政だより市民配布事業	地域コミュニティの醸成・振興を図るとともに、市政だよりの到達率の向上を図るため、市民（町内自治会など）の協力を得て配布した。	平成26年度	年12回（毎月1回） 参加団体（自治会等）：8団体	町内自治会連絡協議会、地区運営委員会、団地自治会など	市政だよりの市民への配布	市政だより納品、市民からの問い合わせ受付	6048	市民局 広報広聴課
6	ちばレポ（ちば市民協働レポート）	ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した市民協働によるまちづくりを目指して、地域で発生している不具合を市民からレポートしてもらい、市民との協力により、地域の課題解決を行った。	平成26年度	新規参加登録者：509人 レポート数：2,543件（内訳：こまったレポート：1,594件 かいけつレポート：559件 テーマレポート：390件）、サポーター活動1回（計1人）	参加登録者：5,626人 連携協力の覚書締結企業及び団体：19企業及び団体	まちの課題をレポートすること、課題の解決に参加すること（除草作業、清掃活動、落書き消しなど）	市民による解決が可能な地域課題への参加募集	5,386	市民局 広報広聴課
7	中央区自主企画事業 中央区ふるさとまつり	区民意識の醸成や地域の活性化を推進するため、実行委員会と協力して「ふるさとまつり」を開催した。	平成5年度	10月21日開催 実行委員数：47人 来場者数：約11万5千人	中央区ふるさとまつり実行委員会	事業の実施	補助金の交付、実行委員会事務局	3,289	中央区役所 地域振興課
8	中央区自主企画事業 ガーデニングボランティア	花を通じて区民意識と連帯感の醸成を図るため、ガーデニングに必要なプランターやシャベル、水等の提供を行い、ボランティアと協力して、中央区役所内の花苗の植え替えや管理を行った。	平成22年度	通年実施 団体数：2団体	千葉ＹＭＣＡガーデニアクラブ	区役所前のプランター管理	水とプランターの提供	10	中央区役所 地域振興課
9	中央区自主企画事業 中央区防災マップ作成事業	大規模災害発生時に、区民が状況に応じて速やかに避難を開始することができるよう、地域住民と協力して、地震や浸水など災害に応じた安全安心な自主防災マップを作成した。	平成24年度	団体数：10団体	町内自治会	現地調査（まち歩き）防災マップ作成	防災マップの印刷	268	中央区役所 地域振興課
10	花見川区自主企画事業 花見川区民まつり	区民相互の協調と親睦、区民意識の醸成及び高揚を図り、地域の発展に寄与するため、実行委員会と協力して区民まつりを開催した。	平成5年度	10月28日開催 実行委員数：146人 来場者数：50,500人	町内自治会外	企画、運営	運営補助	3,658	花見川区役所 地域振興課
11	花見川区自主企画事業 朝市＆花カフェ	区民相互の交流及び、市内産の野菜を知り味わっていただくため、区民等と協力して野菜の販売を行うとともに、オープンカフェを設置し区民の憩いの場を創出した。	平成25年度	年11回（2月を除く毎月第二日曜日） 参加者：延べ110人	千葉市園芸協会、社会福祉法人栗の木、ふろーりすとちゃこ外	出店	運営補助、広報	90	花見川区役所 地域振興課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
12	稲毛区自主企画事業 稲毛区民まつり	区民相互の交流、ふれあいによる地域の活性化と区民意識を醸成するため、実行委員会と協力して区民まつりを開催した。	平成5年度	10月21日（日）実施 来場者数：延べ52,000人 実行委員数：36人（アドバイザー含む）	稲毛区民まつり実行委員会	まつりの企画・当日の運営	運営補助	3,894	稲毛区役所 地域振興課
13	稲毛区自主企画事業 稲毛区花プロジェクト	区民主体のまちづくりの意識の醸成を図るため、地域活動・交流の一環として、「イナゲ　ハナサカス　ボランティア」による区役所の美化活動を行うとともに、区民の投稿による写真で花の写真展を開催した。	平成26年度	（花の写真展） 申請数：39 申請枚数：67 （ボランティア） 月1～2回実施 1団体・個人:6人	ボランティア団体、区民	写真の提供 植栽の管理	ホームページ及び区役所ロビーにおける写真の掲載、花苗や用具の提供など活動環境の整備	61	稲毛区役所 地域振興課
14	若葉区自主企画事業 若葉区の魅力発信	区民一人ひとりが若葉区の豊かな自然環境や歴史・文化など貴重な地域資源の魅力を再認識するとともに、区の魅力が発信されるよう、区民と協力して、若葉区の魅力を発信した。	平成23年度	魅力提供サポーター（登録5人、アクセス数:8,262） 若葉区のジモバナ（アクセス数:57,857）	魅力提供サポーター、千葉大学	ウェブページの作成、婚姻届受理証明・出生記念証のデザイン	ウェブページの作成方法講座開催・管理、婚姻届受理証明・出生記念証の作成	402	若葉区役所 地域振興課
15	若葉区自主企画事業 若葉区民まつり	区民相互の交流、ふれあいによる地域の活性化と区民意識の醸成を図ることで区の特性を活かした魅力あるまちづくりを推進させることを目的として、実行委員会と協力して区民まつりを開催した。	平成5年度	11月4日（日）実施 参加者数：22,000人 実行委員数：48名	若葉区町内自治会連絡協議会、青少年育成委員会等	若葉区民まつりの実施、運営	若葉区民まつりに関する事務、事前準備、実施運営の補助	3,000	若葉区役所 地域振興課
16	若葉区自主企画事業 花のあふれるまちづくり	地域の花壇を自主的に維持管理してもらうため、自治会や市民団体と協力して、花苗の配布や区民を対象とした花づくり教室を実施した。	①花苗配布 平成14年度 ②花づくり教室 平成16年度	①自治会等へ花苗1,800ポット配付。 ②年2回開催 計49人参加	①(株)三樹園緑化②（一社）千葉市園芸協会	地域に合った花壇づくり、花づくり教室の開催	事前準備、実施運営の補助	321	若葉区役所 地域振興課
17	緑区自主企画事業 防犯パトロール講習会	地域住民の防犯意識の高揚を図るため、町内自治会、防犯パトロール隊、千葉南警察署と協力して、防犯パトロール講習会を実施した。	平成25年度	12月9日（日）実施 参加者数：66人	千葉南警察署、緑区町内自治会連絡協議会・千葉南警察署管内防犯協会・緑区防犯パトロール隊	講師の派遣、講義の受講	講演会の実施	150	緑区役所 地域振興課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
18	緑区自主企画事業 緑区災害対応合同訓練	防災体制強化のため、警察署や消防署等の防災関係機関、土木事務所、公園緑地事務所等の関係機関、民間企業及び避難所運営委員会や自主防災組織等の地域防災組織と協力して、大規模災害が発生したことを想定した防災訓練を実施した。	平成27年度	3月8日（金）実施	千葉南警察署、緑消防署、緑郵便局、鎌取駅、大多喜ガス、鎌取CC避難所運営委員会	訓練参加、災害情報の提供及び共有	訓練実施、災害情報の提供及び共有	100	緑区役所 地域振興課
19	緑区自主企画事業 緑区ふるさとまつり	区の特性を活かした魅力あるまちづくりのために必要な区民相互の交流、ふれあいによる地域の活性化と区民意識の醸成を図ることを目的として、実行委員会と協力して区民まつりを開催した。	平成5年度	11月4日（日）実施 実行委員数：64人 来場者数：32,000人	緑区ふるさとまつり実行委員会	まつりの企画・立案・運営	補助金の交付及び実行委員会の事務局	3,439	緑区役所 地域振興課
20	美浜区自主企画事業 地域防犯力の向上	地域の防犯体制を強化するため、町内自治会や警察と協力して合同パトロールなどを開催した。	平成27年度	年2回（11、12月） 参加者数：延べ65人	防犯パトロール隊・町内自治会代表者	合同パトロールなどへの参加、犯罪防止対策の検討	合同パトロールなどの主催	185	美浜区役所 地域振興課
21	美浜区自主企画事業 美浜区見守りネットワーク	孤独死の防止と早期発見を図るため、新聞配達、宅配、電気、ガスなど各事業者の協力により、地域協力員（自治会長、民生委員など）と連携し、高齢者宅などの異変の察知・通報体制を強化するとともに一人暮らし高齢者に安心カードを配布した。	平成25年度	安心カード配布 配布者数：266人	町内自治会 民生委員	安否確認 安心カード配布	連絡調整 安心カードの用意	84	美浜区役所 地域振興課
22	美浜区自主企画事業 美浜区民フェスティバル	地域の活性化と区民意識の醸成を図るため、実行委員会と協力して区民フェスティバルを開催した。	平成5年度	開催日：10月7日 実行委員数：96人 来場者数：55,000人	美浜区民フェスティバル実行委員会（町内自治会等、協力団体・個人）	企画・運営	補助金の交付、実行委員会の事務局	3,290	美浜区役所 地域振興課
23	応急手当インストラクターの活用	応急手当の普及啓発を図るため、救命講習会の指導資格を持つ応急手当普及員と協力して、市民を対象とした救命講習会を開催した。	平成23年度	通年 講習214回 延べ人数：1,234人	応急手当インストラクター	応急手当の指導協力	応急手当インストラクター証・ベストの貸与等	481	消防局 救急課

（4）支援・補助

市民が自発的・自主的に行う事業に対し、市が物的支援や財政的支援などを行うものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
1	区町内自治会連絡協議会運営補助	地域社会における住民自治組織の振興及び育成を図るため、市内町内自治会に係る諸問題の協議などを行う各区町内自治会連絡協議会の運営に対し、補助金を交付した。 根拠要綱等：区町内自治会連絡協議会運営補助金交付要綱	昭和33年度	6団体	各区町内自治会連絡協議会	7,644	市民局 市民自治推進課 各区役所 地域振興課
2	地域運営委員会に対する支援	地域に住む市民の助け合いと支え合いによる地域運営を持続可能なものとする体制づくりを進めるため、地域で活動する町内自治会等の様々な団体で構成される地域運営委員会に対し、その活動費用を補助した。 根拠要綱等：地域運営委員会設立支援等補助金交付要綱、地域運営交付金交付要綱	平成26年度	活動支援補助金：6団 地域運営交付金：10団体 設立済み団体：17団体 設立準備団体：1団体	地域運営委員会	11,832	市民局 市民自治推進課 各区役所 地域振興課
3	防犯アドバイザー派遣	市民の自主的な防犯活動を支援するため、市民団体等に対して、防犯に関して専門的な知識や経験を有する防犯アドバイザーを派遣した。 根拠要綱等：防犯アドバイザー派遣実施要綱	平成18年度	4団体	自治会など	40	市民局 地域安全課
4	防犯パトロール隊支援物品配付事業	地域の防犯活動の一環として、防犯パトロールを実施している団体及びこれから実施しようとする団体に対して、活動に必要な物品を配付した。 根拠要綱等：防犯パトロール隊支援物品配付要綱	平成16年度	190団体	防犯パトロール隊	1,877	市民局 地域安全課 各区役所 地域振興課
5	芸術文化振興事業補助	市民の芸術文化事業への参加を促進するとともに、文化活動を育成・支援するため、市内で活動する芸術文化団体に対し、補助金を交付した。 根拠要綱等：文化振興事業補助金交付要綱	平成26年度	6団体 8事業	芸術文化団体	2,826	市民局 文化振興課
6	ちばし消費者応援団	消費者教育の推進のため、市内で消費者教育に関する活動を行う個人・団体に対し、センター発行の情報紙の送付やセンター諸室の貸出を行った。	平成26年度	個人：93人 団体：98団体	市内で消費者教育に関する活動を行う個人・団体	215	市民局 消費生活センター
7	中央区自主企画事業 地域活性化支援	地域活性化を図るために、区民が主体となって、地域の活性化及び地域における課題解決等を行う活動に対して、必要な経費を助成した。 根拠要綱等：中央区自主企画事業補助金交付要綱	平成25年度	19団体	社会福祉協議会地区部会、市民活動団体等	3,184	中央区役所 地域振興課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
8	中央区自主企画事業 防犯ウォーキング	地域の防犯力の強化、及び犯罪の抑止を図るため、日頃のウォーキングや犬の散歩時などに、ボランティアで防犯ウォーキングを実施する区民に対して、ウォーキング時に着用する物品を貸与した。	平成18年度	登録者：68人	中央区在住、在勤在学の18歳以上の方	99	中央区役所 地域振興課
9	花見川区自主企画事業 地域活性化支援	地域活性化を図るために、区民が主体となって、地域の活性化及び地域における課題解決等を行う活動に対して、必要な経費を助成した。 根拠要綱等：花見川区自主企画事業補助金交付要綱	平成25年度	9団体	地域活動団体	3,143	花見川区役所 地域振興課
10	花見川区自主企画事業 オオガハス文化伝承事業	オオガハス発祥の地にふさわしいまちづくりを目指し、区民が主体となって、オオガハス文化の伝承の普及活動に取り組む活動に対して、必要な経費を助成した。	平成28年度	1団体	大賀ハスのふるさとの会	300	花見川区役所 地域振興課
11	花見川区自主企画事業 地域主体型防災訓練	災害時の対応力や地域防災力の向上を図るため、地域住民が主体となって企画から運営までを行う防災訓練に対して、会場の設営などの支援をした。	平成22年度	9月2日実施 参加者数：184人	花園小学校・中学校・公民館避難所運営委員会他	29	花見川区役所 地域振興課
12	花見川区自主企画事業 地域防犯対策	多様な犯罪を未然に防ぐため、日頃のウォーキングや犬の散歩時に区民に着用する帽子など物品を貸与した。	平成18年度	登録者数：162人	花見川区在住、在勤、在学の18歳以上の個人	289	花見川区役所 地域振興課
13	稲毛区自主企画事業 地域活性化支援	地域活性化の視点に基づく取組みを支援し、地域課題の解決と地域の活性化を図るため、地域における多様な主体に対して助成した。 根拠要綱等：稲毛区自主企画事業補助金交付要綱	平成25年度	7団体	市民団体	1,314	稲毛区役所 地域振興課
14	稲毛区自主企画事業 カエルキャラバンの実施支援	地域団体間のネットワークの強化と災害時に必要な知識などを学ぶため、家族で参加できる子ども向け防災イベントを実施する地域団体等に対し、必要な支援を行った。	平成27年度	3団体	市民団体	26	稲毛区役所 地域振興課
15	稲毛区自主企画事業 防犯ウォーキング	地域の防犯力の強化、及び犯罪の抑止を図るため、日頃のウォーキングや犬の散歩時などに、ボランティアで防犯ウォーキングを実施する区民に対して、ウォーキング時に着用する物品を貸与した。	平成18年度	登録者数：2,380人	ボランティア	75	稲毛区役所 地域振興課
16	稲毛区自主企画事業 地域における防災訓練環境の整備推進	地域の防災力向上を図るため、訓練を実施する団体に対して、訓練用具を貸し出すなど、区民が取り組む防災訓練を支援した。	平成27年度	5団体	自主防災組織、避難所運営委員会	232	稲毛区役所 地域振興課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
17	若葉区自主企画事業 地域活性化支援	地域活性化を図るために、区民が主体となって、地域の活性化及び地域における課題解決等を行う活動に対して、その活動経費を助成した。 根拠要綱等：若葉区自主企画事業補助金交付要綱	平成25年度	13団体	町内自治会、ボランティア団体、市民活動団体、NPO法人、商業団体等	1,361	若葉区役所 地域振興課
18	若葉区自主企画事業 防犯ウォーキング	地域の防犯力の強化、及び犯罪の抑止を図るため、日頃のウォーキングや犬の散歩時などに、ボランティアで防犯ウォーキングを実施する区民に対して、ウォーキング時に着用する物品を貸与した。	平成18年度	登録者数：126人	若葉区在住・在勤・在学の18歳以上の個人	91	若葉区役所 地域振興課
19	若葉区自主企画事業 ラジオ体操で健康づくりとまちづくり	区民の健康増進と住民間交流の促進を図るため、ラジオ体操グループの参加者及び区民に対して、専門講師によるラジオ体操実技講習会などを開催した。	平成27年度	49団体	ラジオ体操グループ	282	若葉区役所 健康課
20	緑区自主企画事業 地域活性化支援	地域活性化を図るために、区民が主体となって、地域の活性化及び地域における課題解決等を行う活動に対して、必要な経費を助成した。 根拠要綱等：緑区自主企画事業補助金交付要綱	平成25年度	15団体	町内自治会、ボランティア団体、市民活動団体等	2,806	緑区役所 地域振興課
21	緑区自主企画事業 防犯ウォーキング	地域の防犯力の強化、及び犯罪の抑止を図るため、日頃のウォーキングや犬の散歩時などに、ボランティアで防犯ウォーキングを実施する区民に対して、ウォーキング時に着用する物品を貸与した。	平成18年度	登録者数：70人	緑区在住 18歳以上の個人	166	緑区役所 地域振興課
22	美浜区自主企画事業 地域活性化支援	地域活性化を図るために、区民が主体となって、地域の活性化及び地域における課題解決等を行う活動に対して、必要な経費を助成した。 根拠要綱等：美浜区自主企画事業補助金交付要綱	平成25年度	13団体	町内自治会、ボランティア団体等	2,313	美浜区役所 地域振興課
23	美浜区自主企画事業 防犯ウォーキング	地域の防犯力の強化、及び犯罪の抑止を図るため、日頃のウォーキングや犬の散歩時などに、ボランティアで防犯ウォーキングを実施する区民に対して、ウォーキング時に着用する物品を貸与した。	平成18年度	登録者数：74人	美浜区在住、在勤、在学の18歳以上の個人	58	美浜区役所 地域振興課

3　市民の意向の把握

市政に関する課題を分析・整理し、新たな施策の策定等に役立てるため、市政全般や行政各分野に関する市民の意向（市民が持っている認識・評価・期待など）や市民の考え方の傾向を把握するものです。

番号	項　目	概　　要	実施時期	対象者数（人）	回答者数（人）	回答率（%）	所管課
1	男女共同参画に関する市民意識・実態調査	今後の具体的施策の基礎資料とするため、男女共同参画に関する市民の意識と実態を調査した（生活経済に関する意識調査）。 対象：市内在住の満20歳以上60歳未満の3,000人（男女各1,500人）	9月	3,000	1,008	33.6	市民局 男女共同参画課
2	中央区自主企画事業 区民対話会	市政・区政に関する情報を発信するとともに、区民の意見や提案などを施策に反映していくため、区長が直接区民と対話を行った。	11月	—	18 （参加者）	—	中央区役所 地域振興課
3	花見川区自主企画事業 区民対話会	市政・区政に関する情報を発信するとともに、区民の意見や提案などを施策に反映していくため、区長が直接区民と対話を行った。	3月	—	8 （参加者）	—	花見川区役所 地域振興課
4	稲毛区自主企画事業 区民対話会	市政・区政に関する情報を発信するとともに、区民の意見や提案などを施策に反映していくため、区長が直接区民と対話を行った。	7月 2月	—	24 （参加者）	—	稲毛区役所 地域振興課
5	若葉区自主企画事業 区民対話会	市政・区政に関する情報を発信するとともに、区民の意見や提案などを施策に反映していくため、区長が直接区民と対話を行った。	2月	—	16 （参加者）	—	若葉区役所 地域振興課
6	緑区自主企画事業 区民対話会	市政・区政に関する情報を発信するとともに、区民の意見や提案などを施策に反映していくため、区長が直接区民と対話を行った。	6月 7月	—	34 （参加者）	—	緑区役所 地域振興課
7	美浜区自主企画事業 区民対話会	市政・区政に関する情報を発信するとともに、区民の意見や提案などを施策に反映していくため、区長が直接区民と対話を行った。	11月	—	23 （参加者）	—	美浜区役所 地域振興課

4　市民と職員の意識向上と人材育成

市民参加・協働を着実に推進するため、市民と職員の意識向上と人材の育成に取り組むものです。

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
1	まちなかボランティア養成講座	外国人を含む来葉者への道案内等を行うボランティアを養成するため、ボランティアの基礎講座及び案内活動の実習を行った。 対象：市内在住・在勤・在学者、市内で地域活動を行っている方または行う予定の方	平成29年度	通年	11 （内訳） 講座4 実習6	延べ225	市民局 市民自治推進課

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
2	ファシリテーター養成講座	公共の課題を解決する会議等の場において、参加者の意見や持ち味を最大限に引き出し、多様な意見をまとめ、合意形成に導くことができる人（ファシリテーター）を養成するための講座を開催した。 対象：市内在住・在勤・在学者、市内で地域活動を行っている方または行う予定の方	平成20年度	6月	1	52	市民局 市民自治推進課
3	地域コーディネーター養成講座	地域課題の解決のため、異なる立場の人を対等につないでいくコーディネーターを養成するための講座を開催した。 対象：市内在住・在勤・在学者、市内で地域活動を行っている方または行う予定の方	平成29年度	3月	1	20	市民局 市民自治推進課
4	シニアセミナー	団塊世代を含めたシニア世代にこれまで培ってきた豊かな知識や経験を、ボランティア活動等の地域活動に活かしてもらうため、活動の意義や役割を理解してもらい、参加の促進を図るための講座を開催した。 対象：市内在住・在勤・在学者、市内で地域活動を行っている方または行う予定の方	平成19年度	10月	2	延べ47	市民局 市民自治推進課
5	地域安全まちづくり講座	地域防犯活動のリーダーを養成するため、防犯に関する専門的・実践的な講座を開催した。 対象：市内在住・在勤・在学者	平成18年度	2月	1	11	市民局 地域安全課
6	防犯パトロール隊交流会	団体相互の連携、隊員の防犯意識の向上、防犯パトロール活動の活性化等を図るため、地域において防犯パトロール活動を実施している各団体が一堂に会しての交流を行った。また、「千葉市防犯パトロール隊表彰要綱」に基づく表彰を行った。 対象：防犯パトロール隊代表者及び隊員	平成17年度	10月	1	162	市民局 地域安全課
7	自転車安全利用講習会	自転車利用者に対し、交通ルールなどの遵守を促すため、自転車安全利用講習会を開催した。また、講習会の参加者に対し、地域における自転車の安全利用の普及などについて貢献を促した。 対象：市内で自転車を利用する者	平成25年度	8月～10月	12	796	市民局 地域安全課
8	初級障害者スポーツ指導員養成講習会	障害者スポーツの振興のため、担い手となる指導員の養成を目的に、障害への理解や安全管理などを習得するための講習会を行った。 対象：18歳以上の方（市外在住者はテキスト代自己負担）	平成26年度	7月	1	36	市民局 スポーツ振興課
9	地域活動支援講座（人材育成講座）	男女共同参画センターにおいて、グループの活性化や人材の育成につなげるため、講座（託児ボランティアフォローアップ講座、ファシリテーター養成講座、市民企画講座等）を開催した。 対象：市内在住・在勤・在学者 **託児サービス有 ※一部のみ**	平成12年度	6月～3月	10	延べ595	市民局 男女共同参画課

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
10	くらしの巡回講座	悪質商法等による消費者トラブルの防止及びくらしに役立つ消費生活情報を提供するため、くらしの巡回講座を開催した。	平成14年度	随時	17	421	市民局 消費生活センター
11	地域リーダー研修	市民主体のまちづくりを推進するため、町内自治会役員等を対象とした研修を開催し、地域のまちづくりのリーダー的人材の育成を行った。 対象：町内自治会役員など	平成24年度	6月17日 3月23日	各1講座	第1回：22 第2回：30	中央区役所 地域振興課
12	中央区 認知症キッズサポーター養成	高齢者が安心して暮らせるやさしいまちづくりを目指すため、認知症の人やその家族を見守り・支援できるように、中央区内の公立中学校で認知症サポーター養成講座を開催した。 対象：中学1年生全員	平成28年度	随時	9	1,223	中央区役所 高齢障害支援課
13	花見川 認知症キッズサポーター養成	高齢者が安心して暮らせるやさしいまちづくりを目指すため、認知症の人やその家族を見守り・支援できるように、花見川区内の公立小学校で認知症サポーター養成講座を開催した。 対象：小学生	平成28年度	随時	3	191	花見川区役所 高齢障害支援課
14	稲毛区自主企画事業 避難所運営委員会の育成	災害時に委員会が主体となり、迅速かつ円滑な避難所運営ができるよう、避難所運営委員会委員を対象とした研修会を開催した。 対象：区民等	平成28年度	7月	2	102	稲毛区役所 地域振興課
15	稲毛区 認知症ジュニアサポーター養成	高齢者が安心して暮らせるやさしいまちづくりを目指すため、認知症の人やその家族を見守り・支援できるように、稲毛区内の公立中学校で認知症サポーター養成講座を開催した。 対象：中学１年生	平成29年度	7月 11月 1月	8	1,193	稲毛区役所 高齢障害支援課
16	若葉区 認知症ジュニアサポーター養成	高齢者が安心して暮らせるやさしいまちづくりを目指すため、認知症の人やその家族を見守り・支援できるように、若葉区内の公立中学校で認知症サポーター養成講座を開催した。 対象：中学生全員	平成27年度	随時	4	870	若葉区役所 高齢障害支援課
17	**若葉区自主企画事業 若葉区の地域防災力の向上**	災害時に委員会が主体となり、迅速かつ円滑な避難所運営ができるよう、避難所運営委員会委員を対象とした講演会を開催した。 対象：区民等	平成30年度	6月	2	44	若葉区役所 地域振興課
18	緑区自主企画事業 避難所運営委員会の育成	災害時に委員会が主体となり、迅速かつ円滑な避難所運営ができるよう、避難所運営委員会委員を対象とした研修会を開催した。 対象：区民等	平成26年度	7月 10月	2	121	緑区役所 地域振興課

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
19	緑区 認知症ジュニアサポーター養成講座	認知症になっても安心して暮らせるやさしいまちを目指し、正しい知識と理解のもと、出来る範囲で認知症の人やその家族の手助けをする認知症サポーターを養成する講座を緑区内の中学校で開催した。 対象：中学１年生全員	平成29年度	随時	8	1,122	緑区役所 高齢障害支援課
20	**緑区認知症サポーター養成講座**	認知症になっても安心して暮らせるやさしいまちを目指し、正しい知識と理解のもと、出来る範囲で認知症の人やその家族の手助けをする認知症サポーターを養成する講座を地域住民向けに開催した。 対象：泉谷中学校地区住民	平成30年度	2月	1	15	緑区役所 高齢障害支援課
21	美浜区自主企画事業 避難所運営体制の強化	区民の防災意識の醸成や災害対応能力と避難所運営力の向上を図るため、避難所運営委員会のための研修会を開催した。 対象：区民等	平成27年度	11月 12月	2	91	美浜区役所 地域振興課
22	美浜区 認知症キッズサポーター養成	高齢者が安心して暮らせるやさしいまちづくりを目指すため、認知症の人やその家族を見守り・支援できるように、美浜区内の公立小学校で認知症サポーター養成講座を開催した。 対象：小学５・６年生	平成27年度	随時	6	1,038	美浜区役所 高齢障害支援課
23	応急手当普及員講習	自らが属する防災組織等において応急手当の指導を行うことができる人材を養成するため、必要な指導技法や実技技能の習得を目的とする講習を開催した。 対象：市内在住・在勤、在学者	平成10年度	5月 8月 10月	8	157	消防局 救急課
24	応急手当インストラクター講習	救命講習会において、応急手当の指導を行うことができる人材を養成するため、指導者として必要な指導技法や実技技能の習得を目的とする講習を開催した。 対象：応急手当普及員の資格を有する者	平成23年度	11月	1	13	消防局 救急課
25	普通救命講習	心肺蘇生法を実施できる人材を育成するため、普通救命講習会を開催した。 対象：市内在住、在勤、在学者	平成5年度	通年	409	7,605	消防局 救急課
26	上級救命講習	心肺蘇生法および、怪我を負った際の応急手当が実施できる人材を育成するため、上級救命講習会を開催した。 対象：市内在住、在勤、在学者	平成5年度	通年	40	814	消防局 救急課

【健康・福祉】

1　市民参加の取組み

市民の豊かな知識や社会経験を市政に生かすため、市の施策に対し市民が意見や提案をする手続です。

（1）パブリックコメント手続

市の重要な施策を決定する際に、施策案を公表して広く市民の意見を募集し、提出された意見を考慮して施策を決定するとともに、意見に対する市の考え方を公表する手続です。

番号	項　目	概　　要	実施時期（意見募集）	意見提出者数（人）	意見数（件）	所管課
1	第2期千葉市自殺対策計画の策定	第2期千葉市自殺対策計画の策定にあたり、パブリックコメントを実施した。	6～7月	0	0	保健福祉局 地域福祉課
2	**千葉市受動喫煙防止条例（仮称）の基本的な考え方**	より実効性のある受動喫煙対策を推進するための千葉市受動喫煙防止条例（仮称）の基本的な考え方を提示した。	7～8月	473	1,244	保健福祉局 健康企画課
3	千葉市食育推進計画の策定	第３次千葉市食育推進計画の策定にあたり、パブリックコメントを実施した。	12月～1月	2	3	保健福祉局 健康支援課
4	平成31年度（2019年度）千葉市食品衛生監視指導計画の策定	飲食に起因する衛生上の危害の発生を防止し、市民の健康保護を図るため、平成31年度(2019年度)における食品営業施設等の監視指導及び食品の試験検査等を定める指導計画を策定した。	1月～2月	2	12	保健福祉局 生活衛生課
5	千葉市旅館業法施行条例の一部改正	千葉市旅館業法施行条例の一部改正にあたり、パブリックコメントを実施した。	4月～5月	0	0	保健福祉局 生活衛生課

（２）公募委員を含む附属機関

附属機関とは、法律や条例に基づいて設置する審議会などをいいます。公募による市民が委員に加わる附属機関において施策の調査、審議等を行うことを市民参加手続として捉えています。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	委員数（人）	うち公募委員数（人）	所管課
1	健康づくり推進協議会	市民の健康づくりの総合的かつ効果的な推進を図るため、健康づくりのための事業の推進や環境整備等について審議した。 （委員31人中4人が公募委員）	7月 10月 11月 1月	5	31	4	保健福祉局 健康支援課
2	国民健康保険運営協議会	国民健康保険法に基づき、国民健康保険事業の運営に関する重要事項について審議した。 （委員18人中4人が公募委員）	8月 1月	2	18	4	保健福祉局 健康保険課
3	福祉有償運送運営協議会	道路運送法に基づく運輸支局への登録等に、住民等地域の関係者の合意が必要となるため、福祉有償運送の必要性、運送の対価等を審議した。 （委員7人中2人が公募委員）	6月 11月 3月	3	7	2	保健福祉局 高齢福祉課
4	社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会	高齢者福祉及び介護保険事業を円滑に実施するため、事業計画の進捗状況等について審議・報告した。 （委員20人中4人が公募委員）	8月 3月	2	20	4	保健福祉局 高齢福祉課 介護保険管理課
5	病院運営委員会	千葉市立青葉病院及び千葉市立海浜病院の円滑な運営を図るため、病院の運営及び改革に関する事項や地域医療連携に関する事項などについて審議した。 （委員11人中1人が公募委員）	3月	1	11	1	病院局 経営企画課

（4）意見交換会

市民と職員、あるいは市民同士が市の施策について意見を交換する手続です。また、施策に対する市民の理解を得るために行う説明会の中で、意見の聴取や意見の交換を行うものもあります。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	託児サービスの有無	所管課
1	区支え合いのまち推進協議会	各地域（地区部会エリア）の活動状況を確認し、取りまとめるとともに、成果事例の共有や取組みの推進方法の検討を行い、各区で策定した「区支え合いのまち推進計画」を推進した。 構成員：各区の公募住民、地域福祉活動者、社会福祉事業者等	各区年2～4回（6月、9月、12月、3月を中心に開催）	19	延べ417	―	保健福祉局 地域福祉課
2	食の安全に関する講演会・意見交換会	食の安全に関する講演会を開催するとともに、平成31年度(2019年度)千葉市食品衛生監視指導計画案について、消費者である市民、食品等事業者、市の３者で意見交換会を行った。 対象：市民一般、食品等事業者	1月	1	45	―	保健福祉局 生活衛生課

２　協働の取組み

市民と市が力を合わせて様々な公共の課題を解決するものです。

（１）委託

地域の実情に合わせ、事業を円滑に実施するため、ノウハウを有する市民等に実施いただくものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手		市事業費（千円）	所管課
					団体名など	選定方法		
1	障害者福祉大会	障害者週間（12月3日～9日）の一環として、障害者（児）の自立と市民意識の啓発及び障害者間の障害種別を越えた交流を図るため、障害者による演奏演技発表や講演会等のプログラムを実施する障害者福祉大会を、障害者当事者で組織する団体に委託した。	平成11年度	参加者数：320人	一般社団法人　千葉市身体障害者連合会	市内の身体障害者団体を統括する唯一の団体（連合会）であり、障害者のある方々との調整が不可欠であることから、これまでも本事業業務委託を誠実に履行している左記団体を選定した。	873	保健福祉局 障害者自立支援課
2	ゆうあいピック（知的障害者スポーツ大会）	知的障害者のスポーツの発展を図るとともに、社会の知的障害者に対する理解と認識を深め、知的障害者の自立と社会参加促進に寄与するため、「ゆうあいピック」の開催を、知的障害者の家族で組織する団体に委託した。	平成5年度	参加者数：543人	千葉市手をつなぐ育成会	市内で唯一の知的障害者福祉団体であり、第１回大会より本事業を委託しており、本事業の趣旨及び知的障害者に対する理解があり、適正かつ円滑な大会運営を実施することができるため、左記団体を選定した。	1,398	保健福祉局 障害者自立支援課
3	自発的活動支援	在宅の知的障害者本人によるボランティア活動を支援するため、その活動の機会を提供するとともに、その活動に関する便宜を図る自発的活動支援事業を、知的障害者の家族で組織する団体に委託した。	平成11年度	参加者数：1,804人	千葉市手をつなぐ育成会	知的障害者に対して年間80回以上のボランティア活動の場を用意できるノウハウを有する市内唯一の団体であることから、これまでも本事業業務委託を誠実に履行している左記団体を選定した。	555	保健福祉局 障害者自立支援課
4	身体障害者スポーツ大会	身体障害者の体力の維持・増強及び自立と社会参加の促進を図るため、全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねて開催する身体障害者スポーツ大会の運営を、身体障害者当事者で組織する団体に委託した。	平成4年度	参加者数：116人	一般社団法人　千葉市身体障害者連合会	市内の身体障害者団体を統括する唯一の団体（連合会）であり、障害者のある方々との調整が不可欠であることから、これまでも本事業業務委託を誠実に履行している左記団体を選定した。	1,909	保健福祉局 障害者自立支援課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手		市事業費（千円）	所管課
					団体名など	選定方法		
5	障害者虐待防止に関する講演会	障害者虐待防止に関する周知を行うため、講演会の開催を、障害者虐待に関する知識や理解を有する障害者当事者で組織する団体に委託した。	平成28年度	参加者数：59人	一般社団法人　千葉市身体障害者連合会	市内の身体障害者団体を統括する唯一の団体（連合会）であり、障害者のある方々との調整が不可欠であることから、これまでも本事業業務委託を誠実に履行している左記団体を選定した。	100	保健福祉局 障害者自立支援課
6	障害者差別解消に関する講演会	障害者差別解消に関する周知を行うため、講演会の開催を、障害者虐待に関する知識や理解を有する障害者当事者で組織する団体に委託した。	平成28年度	参加者数：59人	一般社団法人　千葉市身体障害者連合会	市内の身体障害者団体を統括する唯一の団体（連合会）であり、障害者のある方々との調整が不可欠であることから、これまでも本事業業務委託を誠実に履行している左記団体を選定した。	150	保健福祉局 障害者自立支援課
7	障害者作品展	障害者自身の作品の公開展示を通して、社会の理解促進と障害者の自立促進を図るため、障害者作品展の開催を、身体障害者当事者で組織する団体に委託した。	平成7年度	観覧者数：392人 参加出品数：208点	一般社団法人　千葉市身体障害者連合会	市内の身体障害者団体を統括する唯一の団体（連合会）であり、障害者の自立と社会参加を目的とした各種イベントの開催実績があることから左記団体を選定した。	350	保健福祉局 障害者自立支援課
8	福祉講話	障害者への理解を促進するため、市内の小学校等の児童生徒を対象に、障害者本人と障害者スポーツ関係者が講師となって講話や体験を行う福祉講話を、身体障害者当事者で組織する団体に委託した。	平成5年度	実施校数：40校	一般社団法人　千葉市身体障害者連合会	市内の身体障害者団体を統括する唯一の団体（連合会）であるとともに、障害者に共通する課題に精通しており、適切な施策の推進が図れるため。	556	保健福祉局 障害者自立支援課
9	障害者の明るいくらし促進事業	精神障害者の社会参加の促進を図るため、精神保健福祉教室やボウリング大会などの運営を、精神障害者に関する知識や理解を有するＮＰＯ法人に委託した。	平成10年度	ディライトフェスタ：180人 ボウリング大会：97人 こころの健康教室：109人 スプリングフェスティバル：171人	NPO法人千家連	市内在住の精神障害者及びその家族に対して、精神障害者の保健、福祉の向上を図る事業を行い、精神障害者の福祉の増進に寄与することを目的とした団体であるため選定をした。	1,803	保健福祉局 こころの健康センター

（2）共催

市民と市が共に主催者（事業の実施主体）となって、事業を実施するものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	ヘルシーカムカム	口腔保健の啓発及び歯科医療への理解を図るため、歯と口の健康週間の事業として、千葉市歯科医師会との共催で、ヘルシーカムカム2018を開催した。	平成4年度	5月27日実施 11団体参加 来場者数：1,954人	千葉市歯科医師会　他	参加者の募集、企画、運営	負担金の支出、広報、運営補助等の協力	1,500	保健福祉局 健康支援課
2	市民健康づくり大会	健やか未来都市ちばプランの普及定着を図るとともに、市民総ぐるみの健康づくり運動として総合的に展開するため、市民団体、保健医療関係団体、企業等から成る健やか未来都市ちばプラン推進協議会等との共催で、市民健康づくり大会を開催した。	平成15年度	10月13日実施 出展団体：17団体 来場者数：1,652人 各ブースへの来場者数：延4,957人	健やか未来都市ちばプラン推進協議会他	参加者、観覧者の募集、企画、運営	負担金の支出、広報、運営補助等の協力	780	保健福祉局 健康支援課
3	ふれあいコンサート	障害のある人もない人も一緒に演奏を楽しみ、音楽の力で「心のバリア」を超えて、障害への理解や共感を得る場となることを願い、ＮＰＯ法人との共催で、コンサートを開催した。	平成25年度	11月11日に実施 出演者数：311人 観覧者：500人 実行委員・ボランティア：91人 招待者：7人	NPO法人ちば特別支援教育	参加者、観覧者の募集、企画、運営	広報の協力、会場の確保	0	保健福祉局 障害者自立支援課

（3）事業協力

市民と市が相互の役割分担を定め、協力して事業を実施するものです。ただし、「共催」に該当するものは除きます。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	ブックスタート事業	親子が絵本を介して心ふれあうひとときを持つきっかけを作り、健やかな親子関係を支援することを目的に、養成講座を修了した「赤ちゃんとふれあい絵本ボランティア」と協力して、４か月児健康診査に来所した親子を対象に、絵本の読み聞かせ等を実施した。	平成23年度	年160回 実施人数：6,559人	赤ちゃんとのふれあい絵本ボランティア	読み聞かせの実施	研修会の実施	4,580	保健福祉局 健康支援課
2	食育のつどい	多くの市民が食育に関心を持つため、千葉市健康づくり推進協議会食育推進部会の協力により、食育イベントを開催した。	平成24年度	年1回（6月） 参加者数：延べ7,066人	関係機関及び団体等	ステージ、展示ブース出展	企画運営、調整に関すること	726	保健福祉局 健康支援課
3	地域健康づくり支援連絡会	各区の健康課題解決のため、地域住民、関係行政機関、医療機関、健康づくりに資する活動を実施する関係者、地域の民間事業所等と協力して、情報共有や環境整備に向けた検討を行った。	平成21年度	各区年2回 （中央:7月･12月 花見川区:6月･2月 稲毛区:6月･2月 若葉区:9月･1月 緑区:6月･2月 美浜区:6月･2月）	市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、町内自治会連絡協議会、地区部会、地域保健推進員、食生活改善推進委員　等	連絡会への出席、助言及び意見交換　等	連絡会の開催、調整及び進行	312	保健福祉局 健康支援課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
4	健康づくり事業（運動イベント）	地域住民が自身の健康状態や身体能力に気づき、生活習慣改善のきっかけとなるよう、地域住民主体の環境づくりを促進するため、健康・スポーツ関連団体等や市民と協力して、運動イベントを実施した。	平成27年度	年6会場（各区1会場） 実施参加人数：1,267人	各地区ｽﾎﾟｰﾂ振興会、市ｽﾎﾟｰﾂ推進委員、周辺の町内自治会　等	会場の確保、当日の従事、地域住民への周知、活動紹介、運動指導補助等	ｲﾍﾞﾝﾄの企画・運営、関係機関との連絡調整　等	2,457	保健福祉局 健康支援課
5	食品衛生推進員制度	市民の食生活の安全確保に寄与するため、社会的信望があり、かつ、食品衛生の向上に熱意と見識のある者から市長が委嘱した食品衛生推進員の協力により、食品営業施設への巡回や助言等を行った。	平成17年度	活動人数：96人 延べ件数：1,370件	食品衛生推進員	巡回指導	講習会の実施	1,120	保健福祉局 生活衛生課
6	動物の譲渡事業	千葉市動物保護指導センターに収容された犬やねこの譲渡を進めるため、登録したボランティアや非営利団体と協力して、希望者へ譲渡した。	平成20年度	犬：49頭 猫：221頭	譲渡事業協力者	動物の運動、飼育管理、洗浄、トリミング、広報、希望者への譲渡など	事業全体の運営、譲渡候補動物の管理など	687	保健福祉局 動物保護指導センター
7	介護相談員派遣事業	介護サービスの利用者及びその家族の疑問、不満、不安の解消を図るとともに、サービス事業所における介護サービスの質的向上を図るため、公募市民及び関係団体からの推薦による介護相談員の協力により、介護サービス事業所を訪問し、利用者等と話し合うことで、施設と利用者の橋渡し的な役割を担った。	平成13年度	57事業所を月1回訪問（2人1組） 相談員と介護保険事業課の連絡会議等：年12回	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・グループホーム	介護相談員の受け入れ	介護相談員の派遣、意見交換会の実施	7,386	保健福祉局 介護保険事業課
8	かかりつけ医等発達障害対応力向上研修	発達障害の早期発見・早期支援の推進を目的として、市内の医療従事者の対応力の向上を図るため、研修を実施した。	平成29年度	年2回（6月、1月）、 実施参加者数：延べ129人	千葉市医師会	講師候補者の推薦、広報の協力	研修の主催、講師候補者を国研修へ派遣	199	保健福祉局 障害者自立支援課
9	青葉病院ボランティア事業	来院者の負担軽減を目的として、市民ボランティアの協力により、患者等の案内、誘導、歩行困難者への補助を行った。	平成19年度	週2日実施	個人	案内、誘導、歩行困難者への補助	エプロン、名札の貸与	0	病院局 青葉病院事務局
10	海浜病院ボランティア事業	来院者の負担軽減を目的として、市民ボランティアの協力により、患者等の案内、誘導、歩行困難者への補助、車椅子の簡易な保守・整備を行った。	平成7年度	案内等：週4日 タオルたたみ：週2日 車椅子整備：月1日　実施 実施参加者：延べ884人	ボランティアみはま	患者案内・誘導・歩行介助及び車椅子補助・整備など	ジャンバー・ポロシャツ・エプロンの貸与、作業スペースの提供	0	病院局 海浜病院事務局

（4）支援・補助

市民が自発的・自主的に行う事業に対し、市が物的支援や財政的支援などを行うものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
1	ボランティア電話相談員研修事業	24時間電話相談を行う「いのちの電話」に従事するボランティア電話相談員の養成及び資質向上のために実施する研修に対し、補助金を交付した。 根拠要綱等：社会福祉法人ボランティア電話相談員研修費補助金交付要綱	平成14年度	電話相談員向け研修 参加人数：185人 実施月：4月～3月	社会福祉法人千葉いのちの電話	500	保健福祉局 地域福祉課
2	自死遺族支援事業	自殺者の遺族の心のケアを行うため、自死遺族を支援する団体が行う遺族グループ会議の運営やボランティアの養成等の諸活動に対し、補助金を交付した。 根拠要綱等：自死遺族支援事業補助金交付要綱	平成21年度	スタッフ養成研修 参加人数：延べ24人 実施月：4月～2月 スタッフ向け資質向上研修(3種類開催) 参加者数：延べ58人 実施月：5月～3月	社会福祉法人千葉いのちの電話	167	保健福祉局 地域福祉課
3	**認知症カフェ設置促進事業**	認知症の人とその家族、地域住民、専門職が集い、認知症の人を支えるつながりを支援するため、認知症の人とその家族等が気軽に立ち寄れる集いの場を提供する団体等に対し、補助金を交付した。 根拠要綱等：千葉市認知症カフェ設置促進事業補助金交付要綱	平成30年度	10団体	自治会・NPO等	296	保健福祉局 地域包括ケア推進課
4	エイズ対策促進事業	エイズの正しい知識の普及、啓発を目的として、感染者や患者などに対する相談活動などを行うボランティアグループに対し、事務室を無償貸与した。	平成10年度	1団体	ボランティア団体	0	保健福祉局 健康企画課
5	育児支援事業	子育ての不安等の軽減及び母子の健全育成を目的として、育児サークルに対し、保健師等の派遣による育児相談や情報提供などの人的支援を行った。	平成11年度	375回、7,111人	市民	0	保健福祉局 健康支援課
6	ふれあい食事サービス事業	高齢者の健康保持及び社会参加の促進を図るため、町内自治会や老人クラブ等で構成される市社会福祉協議会地区部会が行う会食の事業に対し、補助金を交付した。 根拠要綱等：社会福祉法人千葉市社会福祉協議会ふれあい食事サービス事業実施要綱、千葉市社会福祉協議会補助金交付要綱	昭和58年度	3つの実施形式で12,580食を提供	市民	4000	保健福祉局 高齢福祉課
7	地域見守り活動支援事業	一人暮らしの高齢者等が、いつまでも住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるように、高齢者の見守りにつながる地域活動を行う団体に対し、補助金を交付した。 根拠要綱等：地域見守り活動支援補助金交付要綱	平成23年度	4団体	ボランティア団体	610	保健福祉局 高齢福祉課
8	地域支え合い型訪問支援	要支援者等を対象として生活支援サービスの提供を行うＮＰＯ法人やボランティア団体等に対し活動費用を助成した。	平成29年度	3団体	ボランティア団体	607	保健福祉局 高齢福祉課
9	地域支え合い型通所支援	要支援者等を対象としてサロン・運動の場の提供を行うＮＰＯ法人やボランティア団体等に対し活動費用を助成した。	平成29年度	6団体	ボランティア団体	205	保健福祉局 高齢福祉課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
10	高齢者等ごみ出し支援事業補助金	ごみ出しが困難な一人暮らし高齢者や障害者などの世帯に対して、協力員によるごみ出し支援を行う団体に、補助金を交付した。	平成25年度	36団体	ボランティア団体	793	保健福祉局 高齢福祉課
11	精神保健福祉ボランティア活動への支援	精神疾患や精神障害者に対する市民の理解を深めることや精神障害者等の社会復帰を支援することを目的として、ボランティア団体に対し、保健師の派遣及び研修を実施した。	平成13年度	【フリースペースあおば】 実施回数：21回 参加者数：524人 【こころのボランティアあおば定例会】 実施回数：11回 参加者数：96人	千葉市こころのボランティア・あおば	0	保健福祉局 こころの健康センター

4　市民と職員の意識向上と人材育成

市民参加・協働を着実に推進するため、市民と職員の意識向上と人材の育成に取り組むものです。

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
1	シニアリーダー養成講座	介護予防につながる生活習慣や運動などを学ぶ自主的な介護予防活動グループのリーダーを養成するための講座を市が実施。講座修了者は、地域に向けて介護予防の推進を目的とした体操教室を行った。 対象：受講後、地域で介護予防の推進を目的とした体操教室を行うことができる市民	平成27年度	講座：6月～8月・12月～2月 体操教室：通年	2コース×12回×6区/年	150	保健福祉局 地域包括ケア推進課
2	ブックスタート研修会	4か月児健康診査において絵本の読み聞かせを行い、絵本を渡すブックスタートを行う人材を育成するため、読み聞かせの方法等を学ぶ研修会を開催した。 対象：あかちゃんとふれあい絵本ボランティア養成講座等を受講修了後、ブックスタート事業において活動できる市民	平成22年度	12月	1	30	保健福祉局 健康支援課
3	食生活改善推進員養成講座	食を通して地域の健康づくりの活動を行う人材を育成するため、地区組織活動や健康に関する講義及び調理実習等を内容とする講座を開催した。 対象：受講修了後に食生活改善推進員として活動できる市民	昭和61年度	9月～2月	6	105	保健福祉局 健康支援課
4	ヘルスサポーター養成教室	健康づくりのための運動を自ら実践し、地域で運動を継続していく自主グループをつくるリーダーを養成するため、養成教室を開催した。 対象：受講終了後、地域で自主的に活動できる市民	平成24年度	5月～3月	48	475	保健福祉局 健康支援課
5	ことぶき大学校（ボランティア実践コース、創造活動コース）	ことぶき大学校において、ボランティア人材の育成や地域貢献活動への意識向上につなげるため、講座（ボランティア実践コース：福祉健康・園芸学科、創造活動コース：美術・陶芸学科）を開催した。 対象：50歳以上の市内在住者	平成23年度	4月～3月	7	137	保健福祉局 高齢福祉課

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施 時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
6	点訳ボランティア養成講座	視覚障害者との交流活動の促進を図るとともに、市の広報活動の支援者として活動できる人材を育成するため、点訳に必要な技術等の習得を目的とする養成講座を開催した。 対象：市内在住者	平成5年度	5月～3月	3	10	保健福祉局 障害者自立支援課
7	音訳ボランティア養成講座	視覚障害者との交流活動の促進を図るとともに、市の広報活動の支援者として活動できる人材を育成するため、朗読に必要な技術等の習得を目的とする養成講座を開催した。 対象：市内在住者	平成5年度	4月～3月	7	12	保健福祉局 障害者自立支援課
8	手話通訳者養成講座	聴覚障害者との交流活動の促進を図るとともに、市の広報活動の支援者として活動できる人材を育成するため、手話通訳に必要な技術等の習得を目的とする養成講座を開催した。 対象：市内在住・在勤者	平成26年度	5月～2月	3	49	保健福祉局 障害者自立支援課
9	要約筆記者養成講座	聴覚障害者との交流活動の促進を図るとともに、市の広報活動の支援者として活動できる人材を育成するため、要約筆記に必要な技術等の習得を目的とする養成講座を開催した。 対象：市内在住・在勤者	平成11年度	5月～11月	1	2	保健福祉局 障害者自立支援課
10	盲ろう者向け通訳・介助員養成講座	盲ろう者の自立と社会参加の担い手として活動できる人材を育成するため、点字または手話の知識を有する者に対して、盲ろう者に対する通訳及び移動等支援に必要な技術等の習得を目的とする養成講座を開催した。 対象：市内在住・在勤者	平成26年度	9月～1月	1	3	保健福祉局 障害者自立支援課
11	精神保健福祉ボランティア入門講座	精神保健福祉ボランティアとして活動できる人材を育成するため、精神疾患について基礎的な知識の習得を目的とする入門講座を開催した。 対象：ボランティア活動に興味がある市民	平成13年度	7月	3	44	保健福祉局 こころの健康センター
12	精神保健福祉フォローアップ講座	精神保健福祉ボランティアとして活動できる人材を育成するため、ボランティア活動体験を含むフォローアップ講座を開催した。 対象：精神保健福祉ボランティア入門講座を受講した市民	平成13年度	9月	6	40	保健福祉局 こころの健康センター

【こども・教育】

1　市民参加の取組み

市民の豊かな知識や社会経験を市政に生かすため、市の施策に対し市民が意見や提案をする手続です。

（1）パブリックコメント手続

市の重要な施策を決定する際に、施策案を公表して広く市民の意見を募集し、提出された意見を考慮して施策を決定するとともに、意見に対する市の考え方を公表する手続です。

番号	項　目	概　　要	実施時期（意見募集）	意見提出者数（人）	意見数（件）	所管課
1	**千葉市学校施設長寿命化基本計画の策定**	学校施設の中長期的なコスト縮減・ 平準化を推進しつつ、安全性の確保や性能の維持・向上を図るための方針を明らかにすることを目的として、千葉市学校施設長寿命化基本計画を策定した。	2月	3	3	教育委員会 学校施設課
2	特別支援教育推進基本計画の策定	これまでの本市における特別支援教育の取組を振り返り、今後の更なる特別支援教育の充実を図るため、総合的・計画的な基本方針を示す特別支援教育推進基本計画を策定した。	6月～7月	5	54	教育委員会 教育支援課
3	**千葉市放課後子どもプランの策定**	社会情勢の変化を踏まえ、子どもたちの放課後に関する基本理念、施策を体系的に整理し、総合的かつ計画的に推進するため「千葉市放課後子どもプラン」を策定した。	2月～3月	14	67	教育委員会 生涯学習振興課

（2）公募委員を含む附属機関

附属機関とは、法律や条例に基づいて設置する審議会などをいいます。公募による市民が委員に加わる附属機関において施策の調査、審議等を行うことを市民参加手続として捉えています。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	委員数（人）	うち公募委員数（人）	所管課
1	子ども・子育て会議	子ども・子育て支援法に基づき、「子ども・子育て支援新制度」に係る事業計画の進捗管理、給付対象施設の利用定員の設定等について意見聴取した。 （委員18人中4人が公募委員）　**託児サービス有**	11月 3月	2	18	4	こども未来局 こども企画課

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	委員数（人）	うち公募委員数（人）	所管課
2	学校教育審議会	学校教育に求められる機能や役割が複雑化・高度化していることから、幅広い教育行政について審議した。 （委員17人中2人が公募委員）	5月 7月 11月 1月	4	17	2	教育委員会 企画課
3	生涯学習審議会	本市における生涯学習の推進を図るため生涯学習施策に関する重要事項を調査審議した。 （委員15人中1人が公募委員）	8月 11月	2	15	1	教育委員会 生涯学習振興課
4	社会教育委員会議	社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため、社会教育に関する重要事項を調査審議した。 （委員12人中1人が公募委員）	5月 8月 10月	3	12	1	教育委員会 生涯学習振興課
5	中央区公民館運営審議会	公民館の運営や各種事業の実施について市民等の意見を反映させるため、中央区内公民館の利用状況や事業計画・報告等について審議した。 （委員14人中1人が公募委員。）	7月 3月	2	14	1	教育委員会 生涯学習振興課
6	花見川区公民館運営審議会	公民館の運営や各種事業の実施について市民等の意見を反映させるため、花見川区内公民館の利用状況や事業計画・報告等について審議した。 （委員15人中1人が公募委員。）	6月 3月	2	15	1	教育委員会 生涯学習振興課
7	若葉区公民館運営審議会	公民館の運営や各種事業の実施について市民等の意見を反映させるため、若葉区内公民館の利用状況や事業計画・報告等について審議した。 （委員13人中1人が公募委員。）	7月 3月	2	13	1	教育委員会 生涯学習振興課
8	図書館協議会	図書館運営及び図書館奉仕について市民等の意見を反映させるため、事業計画や事業報告等について協議するとともに、「千葉市図書館サービスプラン2010」に基づく第三者評価を行った。 （委員10人中2人が公募委員）	6月 7月 3月	3	10	2	教育委員会 中央図書館管理課

（３）ワークショップ

市民と職員、あるいは市民同士が、議論や作業を重ねながら意見をまとめていく会合をいいます。参加者が対等な立場で自由に意見を出し合い、お互いの考えを尊重しながら合意形成していきます。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
1	こども・若者の力ワークショップ	子どもの自覚と自立を促し、社会参画を推進するため、子どもを取り巻く様々な課題について、子どもと専門家、行政がともに考えた。 構成員：市内の小学校3年生～高校生、専門家及び市職員	通年	19	延べ165	こども未来局 こども企画課
2	こども・若者市役所	より多くのこども・若者が主体的にまちづくりを考え、意見を発信していける場の一つとして「こども若者市役所」を立ち上げ、こども・若者の社会参画の意識を高める取り組みを行った。 構成員：小学生～大学生	通年	15	延べ152	こども未来局 こども企画課
3	学校適正配置地元代表協議会	子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の充実を目指し、学校適正配置（小・中学校の統合等）について検討する。平成30年度は、千城台地区、大宮地区、高洲地区で開催した。 地域によって異なるが、構成員は町内自治会連絡協議会、青少年育成委員会、ＰＴＡ・保護者会、地元自治会等の代表者となっている。	千城台地区 7・9月 大宮地区 1・2・3月 高洲地区 3月	6	延べ90	教育委員会 企画課

（４）意見交換会

市民と職員、あるいは市民同士が市の施策について意見を交換する手続です。また、施策に対する市民の理解を得るために行う説明会の中で、意見の聴取や意見の交換を行うものもあります。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
1	こども・若者世界サミット	千葉市独自のこども若者社会参画の取組みを全国に発信し、千葉市がこどもの参画先進都市であることをアピールするとともに、こども若者の社会参画が全国に広がっていくことを期待し、開催した。 対象：子ども、子どもに関わる団体、市民、自治体	3月	1	177	こども未来局 こども企画課

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
2	子ども交流館子ども運営委員会	子どもたちの自主性を育むとともにより魅力ある施設運営に生かすため、イベントの企画・運営、施設利用のルールづくりなどについて、意見交換を行った。 構成員：中・高校生を中心とした施設利用者	毎月1回	13	延べ81	こども未来局 こども企画課
3	市民等と教育委員との意見交換会	教育に関する市民ニーズ（意見）を聴取するため、市民等と教育委員との意見交換を行った。 対象：市民及び市民団体	10月	1	9	教育委員会 企画課
4	学校評議員会	地域の実情に応じた学校運営を行うため、各小学校、中学校、特別支援学校及び高等学校で保護者や地域住民等と意見交換を行った。 構成員：各学校の保護者、地域住民等	各学校の計画による	437	延べ1506	教育委員会 学事課
5	学校・家庭・地域連携まちづくり推進会議	学校・家庭・地域社会の三者連携により、各地域の特色ある活動を推進するため、各中学校区を単位としたまちづくりに関する意見交換を行った。 構成員：学校関係者、保護者代表、地区内教育関係者、児童生徒代表等	各学校の計画による	各学校 3	延べ約150 （地域関係者）	教育委員会 教育指導課
6	公民館運営懇談会	公民館運営や各種事業の実施について市民の意見を反映させるため、公民館活動について、意見交換を行った。 構成員：学校教育関係者、社会教育関係者、社会教育活動に熱意・理解のある者等	各公民館 年1～2回	75	延べ 625	教育委員会 生涯学習振興課

（6）アンケート調査

市の施策に対する市民の意向を把握するために行う調査です。「意見募集」のように自由に意見を述べるものではなく、あらかじめ設定された質問に答える形式で行うものです。

番号	項　目	概　　要	実施時期	対象者数（人）	回答者数（人）	回答率（%）	所管課
1	図書館利用アンケート	実際に図書館を利用している市民の意見を図書館サービスに反映するため、図書館利用の状況や利用者の満足度の調査を定期的に実施し、図書館サービスの評価に活用するため実施した。 対象：千葉市図書館（15館）の来館者2,000人程度	2月	2,000	1,778	88.9	教育委員会 中央図書館 管理課

番号	項　目	概　　要	実施時期	対象者数（人）	回答者数（人）	回答率（%）	所管課
2	**千葉市図書館に関する市民意識調査**	市民の図書館に対する考え方を幅広く把握するとともに、確度の高い統計情報とするため、無作為抽出した市民を対象に、図書館に関する意識調査を実施した。 対象：無作為抽出した市内在住者　3,000人	12月	3,000	1,023	34.1	教育委員会 中央図書館 管理課
3	**生涯学習関係団体の活動に関するアンケート調査**	第５次千葉市生涯学習推進計画の中間見直しを実施するのに伴い、今後の施策に活用するために、生涯学習に関わる団体の方を対象に、施設の利用しやすさや学習成果の活用についてアンケート調査を実施した。 対象：公民館、生涯学習センター、コミュニティセンター使用者	8月	—	2,015	—	教育委員会 生涯学習振興課

２　協働の取組み

市民と市が力を合わせて様々な公共の課題を解決するものです。

（1）委託

地域の実情に合わせ、事業を円滑に実施するため、ノウハウを有する市民等に実施いただくものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手		市事業費（千円）	所管課
					団体名など	選定方法		
1	子どもたちの森公園プレーパーク運営業務	子どもたちが自然の中で自由に自分の発想と責任で遊ぶことを通じて、自主性や社会性を育むことを目的に整備した子どもたちの森公園におけるプレーパークの運営を、計画段階から関わってきた市民団体が結成したＮＰＯ法人に委託した。	平成19年度	利用者数：16,081人	NPO法人プレイフルエンタープライズわかば	随意契約	5,811	こども未来局 こども企画課
2	こどもカフェモデル運営事業	子どもに信頼される大人が見守る中で、気軽に話をしたり、一緒に勉強したり、また仲間と遊ぶことができるなど、子どもたちにとって安心・安全な居場所であるこどもカフェの運営を、ＮＰＯ法人及び市民団体に委託した。	平成23年度	実施箇所数：2箇所 開催回数：144回 利用者数：2,436人	NPO法人VAICコミュニティケア研究所 みはま子育てミニフォーラム	随意契約	2,364	こども未来局 こども企画課
3	男性の子育て支援	男性の子育て支援及び子育てを含めたワーク・ライフ・バランス推進のためのイベントの実施を、ＮＰＯ法人に委託した。	平成26年度	参加者数 プレパパママ講座：130組 パパスクール：162人 イクメン応援イベント：93人	NPO法人ファザーリング・ジャパン	27年度から委託事業として適切に実施していることから、本市の「男性の子育て支援事業」を十分に理解しており、当該事業について大きな成果が期待できる事業者であることから、随意契約を締結した。	委託料　810 施設使用料等19	こども未来局 幼保支援課
4	里親制度推進	里親制度を推進を図るため、養育里親のリクルートから里親委託後の支援までの包括的な実施を、ＮＰＯ法人に委託した。	平成27年度	制度説明会：6回 チラシの配布等による問い合わせ：68件 認定登録者：1件	NPO法人キーアセット	養育里親候補のリクルートから委託後支援までを包括的に行う事業者を、平成30年度より新たに募集し、企画審査して選定した。	20,000	こども未来局 児童相談所
5	子どもの夢をはぐくむ学校サポート推進事業	確かな学力の育成をはじめ、特色ある教育活動の推進、特別に支援を要する児童生徒への支援を行うために、退職職員等を学校支援員として学校に配置する事業を、ＮＰＯ法人に委託した。	平成22年度	配置校：124校（うち、小学校99校、中学校22校、特別支援学校3校） 配置支援員数：190人	NPO法人ちば教育夢工房	地自法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約（学校教育における高度な専門性を持った人材を確保しており、他に本業務を遂行できる法人等が存在しない）	3,467	教育委員会 教育指導課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手		市事業費（千円）	所管課
					団体名など	選定方法		
6	放課後子ども教室推進事業	子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めるため、放課後の小学校の校庭や体育館、余裕教室等における学習や交流などの体験機会の提供等を、地域住民等で組織された各学校ごとの実行委員会に委託した。	平成19年度	参加児童：6,735人 協力員数：5,090人 実施日数：2,104人	新宿小学校つばさわくわく教室他109か所	地域住民や保護者等で構成された各学校ごとの実行委員会を募集し、運営を委託した。	30,091	教育委員会 生涯学習振興課
7	特別教室開放事業	学校・家庭・地域住民の連携及び協力を推進し、子どもの健全育成、地域活動の活性化及び生涯学習の振興を図るため、土・日曜日に小学校の特別教室を開放する事業を、地域住民等で構成される運営委員会に委託した。 箇所数：3か所	平成15年度	年間利用日数：61日 利用時間：506.0時間 利用者数：3,653人	特別教室開放運営委員会	随契1社 （当該校の地域で組織する団体に実施してもらうため）	333	教育委員会 生涯学習振興課
8	旧生浜町役場管理事業	市指定文化財である旧生浜町役場庁舎を公開し、見学者に良好な学習環境を提供するために、庁舎の管理、運営をＮＰＯ法人に委託した。	平成19年度	利用者数：630人	NPO法人 ちば・生浜歴史調査会	旧生浜町役場庁舎に関する専門知識や運営・管理業務における実績等を考慮し選定した。	855	教育委員会 文化財課

（2）共催

市民と市が共に主催者（事業の実施主体）となって、事業を実施するものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	こどものまちＣＢＴ	子どもたちが社会へ参加することを学ぶため、子育て支援団体、ＮＰＯ法人等からなる実行委員会との共催で、子どもたちが企画段階から主体的に擬似的な”まち”を作り、運営する中で、共同作業や協議による課題解決等を行う「こどものまちＣＢＴ」を開催した。	平成21年度	開催日:8月24～26日 参加者数:899人	こどものまちＣＢＴ実行委員会	企画、運営、広報、資金集め	事務局	0	こども未来局 こども企画課
2	青少年の日フェスタ	青少年と家庭、学校、地域、行政がつながりをもつことで、青少年のコミュニケーション力を高め、居場所づくりを推進するため、市内の関係団体等による実行委員会との共催で、生涯学習センターを会場に青少年の日フェスタを開催した。	平成21年度	9月15日実施 参加者数：4,034人	「青少年の日」及び「地域・家庭の日」事業実行委員会、千葉市生涯学習センター	企画・運営	企画・運営 経費負担 広報	637	こども未来局 健全育成課
3	新春凧揚げ大会	日本の伝承遊びを通して子ども同士の交流や地域の連帯意識の向上を図るため、小中台中学校区青少年育成委員会及び青少年相談員連絡協議会との共催で、凧揚げ大会を開催した。	昭和54年度	1月12日に実施 参加者数：230人	小中台中学校区青少年育成委員会青少年相談員連絡協議会	参加者の募集、企画・運営	報償費の支出、広報の協力	28	教育委員会 生涯学習振興課

（3）事業協力

市民と市が相互の役割分担を定め、協力して事業を実施するものです。ただし、「共催」に該当するものは除きます。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	成人を祝う会	成人に達した青年の新しい門出を祝い励ますとともに、大人としての自覚を促し、郷土「千葉市」への関心を深める機会とするため、千葉市青年協議会の協力を得て「成人を祝う会」を開催した。	昭和40年度	1月14日実施 参加者数：7,562人	千葉市成人を祝う会運営協議会 千葉市青年協議会	企画・運営	企画・運営	6,825	こども未来局 健全育成課
2	学校と地域の連携・協働体制の整備事業	地域ぐるみで子どもを育てることを目的として、地域、保護者等のボランティアと協力して、学習支援や環境整備支援、児童生徒の登下校時の見守り等の学校支援を行った。	平成25年度	26学校で実施	各小中学校の地域教育協議会	地域人材の活用	活動費の分配、地域コーディネーターの研修会の開催	2,207	教育委員会 学事課
3	学校・家庭・地域連携まちづくり推進事業	過ごしやすいまちづくりやわがまちに対する愛情や誇りを育むため、学校・家庭・地域の三者が連携し、植栽活動や地域美化活動、文化交流活動等特色ある地域活動を実施した。	平成5年度	地域関係者 延参加人数：約3,200人	育成委員会 周辺の庁内自治会	地域クリーン運動 花いっぱい活動	ゴミ袋の支給 清掃用具の貸与 花種	717	教育委員会 教育指導課
4	長柄げんきキャンプ	特別支援学級と特別支援学校の児童生徒の生きる力や社会性・自主性を育むことなどを目的に実施する宿泊体験行事において、ボランティアの協力のもと、体験活動の補助、身辺自立のための支援を行った。	平成17年度	実施期間：5月～1月 実施参加校：133校 参加者：1019人	参加ボランティア 小学校22名、中学校12名、特別支援学校8名	宿泊学習における児童生徒の支援、補助	宿泊学習における報償費、食事、リネン代	5,686	教育委員会 教育支援課
5	中学校運動部活動指導者派遣事業	部活動の技術の専門性への対応を目的として、専門的な技術を有する市民と協力して、部活動の指導者を中学校に派遣した。	平成4年度	35校62人派遣 1日2時間で平均20.6日（5～3月）	希望する中学校から推薦された方	部活動の専門的技術指導	実績に応じた報償費の支払い、指導者の紹介	2,560	教育委員会 保健体育課
6	小学校プール管理補助員派遣事業	児童の水泳指導を安全かつ衛生的な環境の下で行うため、小学校の水泳指導期間中に、管理補助員となった地域住民が教員と協力して、プール管理業務の補助を行った。	昭和59年度	25校25人派遣 1日4時間で平均10.2日（6～9月）	希望する小学校から推薦された方	水泳のプール管理補助	実績に応じた報償費の支払い	383	教育委員会 保健体育課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
7	子どもたちの学校生活への復帰支援	不登校の子どもたちの不安や悩みを解消し、学校生活への復帰や社会的自立を支援するため、教員志望の学生等と協力して、学習支援やスポーツ援助などを行った。	平成15年度	適応指導教室：通年、通級者：134人、ボランティア：2人 ジョイントキャンプ：10月、2月、 参加者：述べ72人、ボランティア：22人 教育センターグループ活動：通年、通級者：47人、家庭訪問相談員：通年、派遣数：73件	教員志望又は心理学を専攻する千葉大学等の大学生や卒業生	学習支援及びスポーツ援助	学習支援及びスポーツ補助、ボランティアの指導監督及び報償費、適応指導教室や教育センター内のグループ活動の管理・運営	175	教育委員会 教育センター学校支援室
8	障害のある子どもの学校生活サポート	市立の小・中学校の通常の学級に在籍する肢体不自由児や難聴児等の学校生活を支援するため、大学生等のボランティアと協力し、必要な介助や援助を行った。	平成18年度	通年	大学生等ボランティア	学習支援等	条件の合う学校への配置	130	教育委員会 養護教育センター
9	長柄ハッピーキャンプ	通級指導教室に通級する児童を対象に、社会性を高めることを目的に実施する集団宿泊学習において、大学生等のボランティアと協力し、集団活動の支援や体調管理の補助を行った。	平成17年度	10月	大学生等ボランティア	グループ活動支援等	活動の計画	284	教育委員会 養護教育センター
10	科学都市戦略の推進	科学・技術を身近に感じることができる環境を整備するため、企業や大学、ＮＰＯや任意団体などと協力して、科学フェスタを中心とした科学関連事業を実施した。	平成23年度	科学フェスタイベント開催（10月に2日開催） 来場者数：13600人 サテライトイベント開催 科学アドバイザーから市民向けメッセージ発表	企業、大学、NPO市民団体	科学フェスタへのブース出展、実行委員会への参加	事業開催	千葉市科学館指定管理委託料404,215千円に含む	教育委員会 生涯学習振興課 経済農政局 産業支援課
11	科学館のボランティア	参加体験型の科学館運営を行うため、科学館職員とボランティアが協力し、科学館展示物の解説や科学館内外でのワークショップ等の事業を実施した。	平成19年度	年334日間 実施参加者：延べ8,338人	科学館ボランティア	運営補助、講座等の企画、ワークショップの実施	活動場所の提供、機材等の貸出、研修の実施	千葉市科学館指定管理委託料404,215千円に含む	教育委員会 生涯学習振興課
12	公民館主催事業への協力	市民の学習ニーズを反映させるとともに、市民の学習成果の活用の場とするため、公民館が主催する各種事業の企画、運営を、ボランティア団体等と協力して、実施した。	昭和28年度	972事業 延べ受講者数：46,467人	公民館利用団体、地域住民等	公民館主催事業の企画・運営等への協力	公民館主催事業の企画・運営及び必要経費の支払い	7,049	教育委員会 生涯学習振興課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
13	ゆめチャレンジ支援プロジェクト事業	利用団体の成果発表および異世代交流を目的として、大学生ボランティアと協力し、公演実施への支援や来館者へのお出迎え・おもてなし企画を実施した。	平成25年度	年1回(1月) 参加者：延べ1,022人	淑徳大学 ボランティア	企画・実施	実行委員会事務局	0	教育委員会 南部青少年センター
14	加曽利貝塚解説ボランティア	来館者の理解を深めるため、解説ボランティア養成講座を修了した登録ボランティアと協力して、施設及び展示の解説、体験学習の指導等を行った。	平成15年度	ボランティア活動者：延べ3,181人 解説等参加者：延べ23,862人	加曽利貝塚 ガイドの会	企画、準備、調整、解説、指導	工作機械等の貸出、事業の広報活動、事業準備	0	教育委員会 加曽利貝塚博物館
15	郷土博物館展示解説ボランティア	来館者の理解を深めるため、展示解説ボランティア養成講座を修了した登録ボランティアと協力して、博物館の展示解説を行った。	平成15年度	年間解説回数：3,013回	郷土博物館展示解説ボランティア	展示解説、イベント運営・補助	ボランティアの募集・育成、各種活動支援	0	教育委員会 郷土博物館
16	市史編さん事業	市史編さん業務を円滑に進めるため、市史協力員として登録された市民と協力し、博物館収蔵の史料の整理を行った。	平成19年度	年間活動回数：150回	市史協力員	史料整理	目録用紙整理 封筒の用意	0	教育委員会 郷土博物館
17	子ども読書まつり	子どもが読書に関心を持つことを目的に各図書館が行う子ども読書まつり関連イベントを、ボランティア団体等の協力により実施した。	平成16年度	10月20日花見川団地分館、泉分館 10月27日花見川図書館、稲毛図書館、若葉図書館、緑図書館 10月28日みやこ図書館 11月10日みずほハスの花図書館、白旗分館、西都賀分館 11月11日中央図書館 11月17日美浜図書館 10月25日～11月10日打瀬分館 87イベント 参加人数：延べ7,635人	千葉市文庫連絡協議会、としょかんふれんず千葉市等NPO・市民団体15団体、地域おはなしボランティア、市民ボランティア	イベント実施 イベント補助	事業開催	0	教育委員会 中央図書館 情報資料課
18	地域おはなしボランティア活動	子どもが読書に関心を持つことを目的として、地域おはなしボランティア養成講座を修了した登録ボランティアの協力により、市内各機関等からの要請に基づき、子どもたちへの読み聞かせなどを行う各種の「おはなし会」を実施した。	平成17年度	派遣場所：73か所 活動回数：108回 活動人数：294人 （中央館・地区館計７館を集約）	地域おはなしボランティア	おはなし会（わらべうた・読み聞かせ等）の実施	養成講座・スキルアップ研修の実施、派遣と活動の調整	0	教育委員会 中央図書館 情報資料課

（4）支援・補助

市民が自発的・自主的に行う事業に対し、市が物的支援や財政的支援などを行うものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
1	プレーリーダー派遣業務	子どもの興味や関心を引き出すため、子どもたちの森公園等のプレーパークを開催する市民団体に対して、プレーリーダー（子どもがいきいきと遊ぶことのできる環境をつくる大人）を派遣した。	平成26年度	派遣箇所数：9箇所 派遣回数：72回	NPO法人プレイフルエンタープライズわかば	907	こども未来局 こども企画課
2	青少年育成委員会活動事業	青少年健全育成を目的とし、各中学校区青少年育成委員会が実施する非行防止活動、地域の環境浄化活動等に対して、補助金を交付した。 根拠要綱等：青少年健全育成事業補助金交付要綱	昭和34年度	54団体	各中学校区青少年育成員会	11,651	こども未来局 健全育成課
3	青少年相談員連絡協議会活動事業	地域社会での青少年健全育成活動の積極的な推進を図るため、青少年相談員連絡協議会が行う青少年のつどい大会、レクリエーション活動等の各種事業に対して、補助金を交付した。 根拠要綱等：青少年健全育成事業補助金交付要綱	昭和38年度	1団体	千葉市青少年相談員連絡協議会	4,263	こども未来局 健全育成課
4	青少年育成団体等事業	青少年健全育成のため、青少年育成団体等が行う啓発活動や研修会等の各種事業に対して、補助金を交付した。 根拠要綱等：青少年健全育成事業補助金交付要綱	昭和35年度	4団体	青少年健全育成事業を行う団体	1,200	こども未来局 健全育成課
5	子ども会育成事業	子どもたちの協調性や創造性を身につけることを目的として、子ども会育成連絡会の事業に対し、補助金を交付した。 根拠要綱等：青少年健全育成事業補助金交付要綱	昭和49年度	1団体	子ども会の育成事業を行う団体	1,249	こども未来局 健全育成課
6	知的障害青年学級事業	知的障害のある方々の交流や自立を図るため、余暇活動等の交流の場を提供する事業に対して、補助金を交付した。 根拠要綱等：青少年健全育成事業補助金交付要綱	昭和57年度	1団体	知的障害のある方に交流の場を提供する事業を行う団体	367	こども未来局 健全育成課
7	青少年補導員連絡協議会活動事業	青少年の非行防止と健全な育成を推進するため、青少年補導員連絡協議会が行う補導活動や全体研修会、環境浄化促進活動などの各種事業に対し、補助金を交付した。 根拠要綱等：青少年健全育成事業補助金交付要綱	昭和46年度	補導員数：199人	千葉市青少年補導員連絡協議会	728	こども未来局 青少年サポートセンター
8	学校セーフティウォッチ事業	子どもたちの安全確保に取り組むため、登下校の見守りや巡回の活動を行う市民(学校セーフティウォッチャー)に対し、腕章の配布、講習会の開催等を行ったほか、スクールガード・アドバイザーが巡回して助言や情報提供等を行った。	平成17年度	登録者数：約26,000人	地域ボランティア、保護者	871	教育委員会 学事課
9	指定文化財補助事業	文化財の適正な保存管理とその活用を図るため、市内の指定有形文化財の管理（草刈・清掃）を行う文化財所有者に対して、補助金を交付した。 また、無形民俗文化財（郷土芸能：お囃子・神楽）については、これを継承するために保持団体が実施する後継者養成事業や用具の補修事業に対して、補助金を交付した。 根拠要綱等：文化財保護事業補助金交付要綱	昭和55年度	7団体	市指定有形文化財所有者及び無形民俗文化財保持団体	366	教育委員会 文化財課

4　市民と職員の意識向上と人材育成

市民参加・協働を着実に推進するため、市民と職員の意識向上と人材の育成に取り組むものです。

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
1	生涯学習センター指導者養成事業	生涯学習センターにおいて、指導者の養成を図るため、生涯学習指導者養成研修や生涯学習コーディネーター養成講座等を開催した。 対象：市内在住・在勤・在学者	平成13年度	随時	11	347	教育委員会 生涯学習振興課
2	科学館ボランティア事業	科学館におけるボランティアの参加場面をより多様化し、充実感を持った活動ができるようにするため、科学館職員との勉強会や、各種研修を実施した。 対象：高校生以上（千葉市内外、在勤、在学を問わない）	平成19年度	随時	383	2,514	教育委員会 生涯学習振興課
3	加曽利貝塚解説ボランティア養成講座	博物館の施設及び展示の解説や体験学習の指導等を行うボランティアの養成のために、必要な知識の習得を目的とした講座を開催した。 対象：18歳以上の市内在住・在勤・在学者	平成15年度	8月 9月	6	56	教育委員会 加曽利貝塚博物館
4	郷土博物館展示解説ボランティア養成講座	郷土博物館の展示解説を行うボランティアの養成のために、必要な知識の習得を目的とした講座を開催した。 対象：18歳以上の市内在住・在勤・在学者	平成15年度	6月～1月	10	延べ58	教育委員会 郷土博物館
5	地域おはなしボランティアスキルアップ研修	市内各機関等からの要請に基づき、子どもたちに読み聞かせ等を行っている「地域おはなしボランティア」の資質・力量の向上を図る研修を実施した。 対象：千葉市地域おはなしボランティア	平成17年度	6月～1月	2	42	教育委員会 中央図書館 情報資料課

【環境】

1　市民参加の取組み

市民の豊かな知識や社会経験を市政に生かすため、市の施策に対し市民が意見や提案をする手続です。

（1）パブリックコメント手続

市の重要な施策を決定する際に、施策案を公表して広く市民の意見を募集し、提出された意見を考慮して施策を決定するとともに、意見に対する市の考え方を公表する手続です。

番号	項　目	概　　要	実施時期（意見募集）	意見提出者数（人）	意見数（件）	所管課
1	千葉市再生可能エネルギー等導入計画の改定	市域における再生可能エネルギー等の導入を推進するため、千葉市に適した再生可能エネルギー等の推進・普及に向けた導入目標とロードマップ等を提示した「千葉市再生可能エネルギー等導入計画」を改定した。	4～5月	5	13	環境局 環境保全課

（2）公募委員を含む附属機関

附属機関とは、法律や条例に基づいて設置する審議会などをいいます。公募による市民が委員に加わる附属機関において施策の調査、審議等を行うことを市民参加手続として捉えています。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	委員数（人）	うち公募委員数（人）	所管課
1	環境審議会	本市の環境関連施策を推進するため、環境基本計画の点検・評価など環境の保全及び創造に関する基本的事項について調査審議した。 （委員24人中2人が公募委員）	11月	1	24	2	環境局 環境総務課
2	廃棄物減量等推進審議会	廃棄物の減量及び適正処理を推進するため、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の進捗状況や実施施策等について審議した。 （委員20人中2人が公募委員）	4月 10月	2	20	2	環境局 廃棄物対策課

（5）意見募集

市の施策に対する市民の意見を募集する手続です。パブリックコメント手続も市民の意見を募集する手続ですが、この「意見募集」はパブリックコメント手続を除いたものとしています。

番号	項　目	概　　要	実施時期	意見提出者数（人）	意見数（件）	所管課
1	環境基本計画の点検・評価結果に対する意見募集	今後の環境基本計画の策定及び環境施策の展開に反映するため、平成29年度に実施した市の施策・事業についての点検・評価結果を千葉市環境白書やホームページに掲載し、意見を募集した。 対象：市民等、事業者	通年	0	0	環境局 環境総務課

2　協働の取組み

市民と市が力を合わせて様々な公共の課題を解決するものです。

（2）共催

市民と市が共に主催者（事業の実施主体）となって、事業を実施するものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	環境フェスティバル	多くの市民が環境に関心を持ち、環境保全活動に参加する意欲を育むため、公募市民、学識経験者、事業者等及び市による実行委員会が講演や環境保全活動を紹介するフェスティバルを開催した。	平成20年度	開催日：6月14日 出展団体：4団体 来場者数：250人	千葉市地球温暖化対策地域協議会	広報の協力、運営事務	参加者、観覧者の募集、企画、運営	1,000	環境局 環境保全課
2	エコメッセちば	環境保全活動を促進するため、市民団体、事業者、関係行政機関と市による実行委員会が、環境活動の見本市を開催した。	平成8年度	開催日：10月8日 出展団体：111団体 来場者数：約9,000人	エコメッセ実行委員会	参加者、観覧者の募集、企画、運営	広報の協力、運営事務	100	環境局 環境保全課

（3）事業協力

市民と市が相互の役割分担を定め、協力して事業を実施するものです。ただし、「共催」に該当するものは除きます。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	環境教育等推進事業	地域における環境教育を推進するため、環境活動団体の協力により、公民館等が行う環境関連の講座、勉強会、自然観察会等に、講師を派遣した。	平成17年度	年6回	環境パートナーシップちば、NPO法人ちば環境情報センター	環境関連の講座の開催	公民館への周知、開催の調整	80	環境局 環境保全課
2	地球温暖化対策地域協議会事業	千葉市地球温暖化対策実行計画等の温暖化対策を効果的に推進するため、公募市民、市民団体、各種事業者等と市による地球温暖化対策地域協議会が、アクションプランに基づき、市民、事業者向けの啓発事業等を実施した。	平成16年度	通年	千葉市地球温暖化対策地域協議会	企画、運営	事務局対応	1,000	環境局 環境保全課
3	坂月川ビオトープの管理・運営	市民が身近な水辺に親しみ、自然とふれあうことのできる場とするため、坂月川流域の環境保全活動団体と協力して、ビオトープ施設の維持管理、動植物調査、啓発活動などを行った。	平成16年度	通年122回	坂月川愛好会	除草等施設の維持管理 動植物調査及び保全活動 環境学習の支援等啓発活動	草刈、池掘削、散策路整備、木道補修、土搬入、掲示板補修	2,416	環境局 環境保全課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
4	大草谷津田いきものの里推進事業	市民が身近に自然とふれあい、自然について学ぶ場を提供するため、市民団体、学校関係者及び専門家と協力して、「大草谷津田いきものの里」の田んぼづくり、森づくり活動、生物環境調査を行った。	平成18年度	田・森づくり：34回 生物環境調査：24回 ホタル調査：3回 カエル調査：5回	田・森くらぶ、生物調査隊、東邦大学田んぼ会	田んぼづくり、森づくり、生物環境調査	・現場調整 ・関係機関調整 ・土地所有者との保全協定締結 ・消耗資材支給	60	環境局 環境保全課
5	水辺環境保全推進員（水辺サポーター）	豊かで潤いのある水辺環境を構築するため、坂月川、都川、花見川鹿島川及びいなげの浜・幕張の浜を対象に、公募による水辺サポーターと協力して、生活排水対策に係る啓発活動や河川の水質浄化活動を行った。	平成12年度	毎月1回 活動人数：延べ204人	水辺環境保全推進員17人（坂月川愛好会、花見川の環境を守る会、NPO法人都川の環境を考える会、NPO法人バランス21及び個人）	水質測定、清掃活動、監視活動、生き物調査	水質検査消耗品支給、関係機関との連絡調整	525	環境局 環境保全課
6	市の鳥コアジサシの保護	市の鳥であるコアジサシの保護対策、生息調査のため、人工海浜内の保護区域において、水鳥研究家等の活動家と協力して、コアジサシの保護活動とその推進事業を行った。	平成25年度	コアジサシ営巣地への人止柵設置・撤去 設置：4月 撤去：8月	水鳥研究会東京湾グループ、野鳥の会など	注意看板及び柵の設営、撤去	資材の手配、運搬、設営	467	環境局 環境保全課
7	谷津田の保全推進（谷津田の活動協定）	千葉市の原風景である谷津田の自然と営みを保全するため、活動協定団体と協力して、農作業、森林の保全活動、自然環境に係る啓発活動等を行った。	平成22年度	米作り、自然観察会、里山保全活動等	NPO法人ちば環境情報センター（YPP）、NPO法人バランス21、NPO法人緑の環・協議会	環境維持を目的とした農作業、森林保全に必要な間伐等、環境教育等	消耗資材の支給	117	環境局 環境保全課
8	**ボランティアによる生き物調査**	生物多様性に対する市民の理解を深めるための自然環境基礎調査として、ボランティアによる生き物調査を行った。	平成30年度	実施期間：1月21日～3月19日 調査報告件数：142件	田・森くらぶ、大草調査隊、坂月川愛好会、ちば環境情報センター、バランス21	地域住民への聞き取り調査、集計結果の報告	地域住民との連絡調整、報償費支給	62	環境局 環境保全課
9	ごみゼロクリーンデー	街を美しくし、ごみ問題について市民に考えてもらうことを目的に、市民と協力して、道路等に捨てられたごみ等を収集した。 区開催：市民が各区役所の設定したコースのごみを収集 地域開催：地元町内自治会等がコースを決めて散乱ごみを収集	昭和56年度	区開催:5月27日 地域開催:5月27日～6月30日 参加者：延べ35,908人	周辺の町内自治会、ボランティア団体	清掃	ごみ袋の支給、回収	0	環境局 廃棄物対策課 各区役所 地域振興課
10	廃食油の拠点回収事業	ごみの減量・再資源化を推進するため、地域団体や事業者と連携して家庭から排出される廃食油（使用済てんぷら油・サラダ油等）を集める回収拠点を設置し、これを収集・精製してバイオディーゼル燃料等にリサイクルした。	平成26年度	回収拠点：38拠点 回収量：9315.7リットル	地域団体、民間事業者	拠点設置、収集	回収ボックス等の支援	4	環境局 廃棄物対策課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
11	廃棄物適正化推進員	廃棄物の適正処理及び再利用等の普及、啓発を目的として、町内自治会等から推薦された廃棄物適正化推進員と協力して、ごみの適正処理やごみの再利用の普及活動を行った。	平成5年度	廃棄物適正化推進員：1,133人	町内自治会	ごみの適正排出等の普及活動	身分証明書の発行、腕章の貸与	14,062	環境局 収集業務課
12	ペットボトルキャップ回収運動	ペットボトルのキャップを集めることにより、焼却ごみの削減及び温室効果ガスの発生を抑制するため、千葉市社会福祉協議会と協力して回収運動を実施した。	平成21年度	拠点回収 27,052.7kg ペットボトルキャップ 11,632,661個相当	千葉市ボランティアセンター	ペットボトルキャップの回収	ペットボトルキャップの回収	0	環境局 収集業務課
13	廃棄物等不適正処理監視事業	廃棄物等の不適正処理の未然防止、災害防止及び生活環境保全を図ることを目的に、町内自治会等から推薦された廃棄物等不適正処理監視委員の協力によりパトロールを行った。	平成2年度	通報件数：7件(通年) 委員数：6人	地域住民(個人)	廃棄物の不適正処理の通報	行為者の調査・指導	0	環境局 産業廃棄物指導課

（4）支援・補助

市民が自発的・自主的に行う事業に対し、市が物的支援や財政的支援などを行うものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
1	生ごみ資源化アドバイザー派遣	生ごみの減量及び再資源化を推進するため、町内自治会等の希望に応じて、生ごみの減量及び再資源化に関する助言、技術指導等を行うアドバイザーを派遣した。 根拠要綱等：生ごみ資源化アドバイザー派遣事業実施要綱	平成17年度	派遣回数：10回 参加者数：320人	生ごみ資源化アドバイザー、市民	91	環境局 廃棄物対策課
2	美しい街づくり活動支援	地域の美化推進のため、自発的に散乱ごみの収集やポイ捨て防止の指導、啓発活動等を定期的に行う団体や個人に対し、清掃用具等を支援した。 根拠要綱等：美しい街づくりに係る活動支援要綱	平成12年度	673団体	町内自治会、ボランティア団体等	1,119	環境局 廃棄物対策課 各区役所 地域振興課
3	集団回収	ごみ減量、再資源化の一層の推進のため、町内自治会、子ども会等の地域団体が自主的に行う古紙、布類の資源回収活動に対し、回収量等に応じて補助金を交付するとともに、保管庫等を貸与した。 根拠要綱等：資源回収促進奨励補助金交付要綱	平成2年度	団体数：634団体 回収量：10,837t	町内自治会等、20世帯以上の有志団体のうち、市に登録した団体	70,710	環境局 収集業務課

4　市民と職員の意識向上と人材育成

市民参加・協働を着実に推進するため、市民と職員の意識向上と人材の育成に取り組むものです。

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
1	谷津田の自然体験教室	自然環境の保全再生、動植物に関する調査を率先して行える指導者や実践者を育成するため、必要な知識や方法を習得することを目的とした講座を開催した。 対象：自然環境の保全・再生に関心のある市民	平成14年度	通年	13	99	環境局 環境保全課
2	生ごみ資源化アドバイザー養成講座	生ごみの減量及び再資源化に関する助言、技術指導等を行う「生ごみ資源化アドバイザー」を養成するため、研修会を開催した。 対象：更新希望の生ごみ資源化アドバイザー	平成17年度	3月	1	17	環境局 廃棄物対策課

【経済・産業】

1　市民参加の取組み

市民の豊かな知識や社会経験を市政に生かすため、市の施策に対し市民が意見や提案をする手続です。

（2）公募委員を含む附属機関

附属機関とは、法律や条例に基づいて設置する審議会などをいいます。公募による市民が委員に加わる附属機関において施策の調査、審議等を行うことを市民参加手続として捉えています。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	委員数（人）	うち公募委員数（人）	所管課
1	千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会	千葉競輪の経営改善のため、包括委託事業に関する業務の企画提案書の審査及び評価を行った。 （委員4人中2人が公募委員）	12月 3月	2	4	2	経済農政局 公営事業事務所

（4）意見交換会

市民と職員、あるいは市民同士が市の施策について意見を交換する手続です。また、施策に対する市民の理解を得るために行う説明会の中で、意見の聴取や意見の交換を行うものもあります。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
1	「人・農地プラン」の策定に関する話し合い	人と農地の問題を解決するために策定した「人・農地プラン」の細分化・見直しにあたり、地域・集落における農業者等との話し合い・検討会を行った。 【話し合い】対象：農業委員、農地利用最適化推進委員、認定農業者、農業組合長、地元農業者等、新規就農者等 【検討会】対象：検討会委員	5月 7月 9月	3	延べ60程度	経済農政局 農地活用推進課
2	いずみグリーンビレッジ推進会議	いずみ地区の農業の振興と地域の活性化を図るため、事業を効果的に推進することを目的に、対象地域の代表者による意見交換を行った。 構成員：若葉区東部鹿島川流域の町内自治会から各1人、計18人	2月	1	11	経済農政局 農業経営支援課

2　協働の取組み

市民と市が力を合わせて様々な公共の課題を解決するものです。

（1）委託

地域の実情に合わせ、事業を円滑に実施するため、ノウハウを有する市民等に実施いただくものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手		市事業費（千円）	所管課
					団体名など	選定方法		
1	都市農業交流センター管理運営	都市部と農村部の交流を促進し、農業振興と地域の活性化を図るため、センターの管理運営を地元住民で組織される団体に委託した。	平成19年度	合計利用者数：198,988人 研修室利用件数：287件 市民農園利用区画数：288区画	富田町管理運営組合、下田ふれあい交流施設管理運営組合、中田市民農園管理運営組合	地域密着型農業のノウハウを持つ地元団体を指定管理者として指定した。	53,355	経済農政局 農業経営支援課

（2）共催

市民と市が共に主催者（事業の実施主体）となって、事業を実施するものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	夏休みおしごと感動体験ワクワクワークデー	中心市街地の大型店や店舗等及び企業・大学との協働により、小学生に楽しみながら多様な職業体験をしてもらい、自分が将来、やりたい仕事について考える機会を提供することで、次世代を担う起業家人材を育成するとともに、中心市街地の賑わいの創出を図った。	平成26年度	8月28日実施 参加者数：895人（小3～6年）	イオンモールキッズドリーム合同会社、(学法)千葉敬愛学園　敬愛大学、(学法)中村学園、(株)そごう・西武　そごう千葉店、(株)千葉ステーションビルペリエ千葉店、(公財)千葉市産業振興財団、千葉商工会議所	体験受入、体験受入企業等募集、企画・運営	負担金支出、広報、体験受入企業等募集、企画・運営	1,426	経済農政局 雇用推進課
2	西千葉子ども起業塾	子どもたちに働くことや経済の仕組み、地域社会との関わりを学習してもらうため、千葉大学との協働により、社会人アドバイザーからアドバイスを受けながら、子どもたちが事業計画を立て、起業し、実行する起業塾を開催した。	平成22年度	6月～10月・全5回実施 参加者数：26人（小4～6年23人、中学3人）	千葉大学	企画・運営	負担金支出、広報、企画・運営	100	経済農政局 雇用推進課
3	中学生のための起業体験講座	将来の市の産業振興人材を育成するため、中学生たちが、経営者等からのアドバイスや東京情報大学のサポートを受け、地域の課題を把握しながら、経済の仕組みや働くこと、地域社会との関わりなどについて学習し、起業・出店を体験する講座を開催した。	平成25年度	10月～11月・全4回実施 参加者数：4人（中1～3年）	東京情報大学	経費負担、企画・運営	広報、企画・運営	0	経済農政局 雇用推進課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
4	幕張新都心ビジネススクール	高校生を対象に、将来の進路選択や就職活動につながる気づきを発見する機会を創出するため、神田外語大学及び幕張新都心の企業との協働により、ビジネスの楽しさや経済の仕組みなどを学ぶ講座を開催した。	平成26年度	2月23日実施 参加者数：10人（高1～3年）	神田外語大学	企画・運営	負担金支出、広報、企画・運営	68	経済農政局 雇用推進課
5	千葉市民花火大会	市民に夏の風物詩を提供するとともに、経済の活性化を図るため、千葉商工会議所、(公社)千葉市観光協会、地元企業や関係団体及び市による実行委員会が、市民花火大会を開催した。	昭和53年度	開催日：7月27日 観覧者数：約30万人	千葉商工会議所、（公社）千葉市観光協会、㈱幕張メッセ、幕張新都心ホテル協議会、㈱ベイエフエム	実行委員会を組織し、企画、調整、実施	負担金支出。また、実行委員会を組織し、企画、調整,実施	40,786	経済農政局 観光ＭＩＣＥ企画課
6	千葉湊大漁まつり	千葉県及び千葉市の豊かな食、特産品、文化などのＰＲや多彩な催しを展開することにより、地域の魅力や価値の向上、地産地消の推進、地域産業の振興、集客交流の拡大を図るため、千葉商工会議所や関係団体及び市による実行委員会で、千葉湊大漁まつりを開催した。	昭和48年度	11月3日（土・祝）実施 来場者数：約7万5千人	千葉商工会議所、（公社）千葉市観光協会、千葉市卸売市場協力会、（公社）千葉市産業振興財団、（一社）千葉市園芸協会、千葉みらい農業協同組合、千葉酪農農業協同組合、㈱ベイエフエム、㈱塚原緑地研究所	実行委員会を組織し、企画、調整、実施	負担金支出。また、実行委員会を組織し、企画、調整、実施	5,000	経済農政局 観光ＭＩＣＥ企画課

（3）事業協力

市民と市が相互の役割分担を定め、協力して事業を実施するものです。ただし、「共催」に該当するものは除きます。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	里山の保全推進事業・市有林整備事業	市民に身近な自然である市指定の里山地区及び市有林を保全するため、下草刈り、間伐等の保全管理を、森林ボランティア団体、ＮＰＯ法人等と協力して行った。	平成14年度	①ちば森づくりの会 活動日：毎月第1水曜日および第1.2.3.4土曜日 年間活動日：58日 727人 ②千葉里山ボランティアの会　年間活動日：33日 285人 ③・㈱パラッツオ東京プラザ　年間活動日：15日 121人 ・NPO樹木・環境ネットワーク協会　年間活動日：16日 24人	①NPOちば森づくりの会 ②千葉市里山ボランティアの会 ③㈱パラッツオ東京プラザ、NPO樹木・環境ネットワーク協会	下草刈り、枝打ち、間伐等の保全管理	①、②への報償金の交付、森林ボランティア推進事業（増員を図るためのボランティア研修会等の開催）、安全研修会の開催	2,045	経済農政局 農業経営支援課
2	いずみグリーンビレッジ協力事業	いずみ地域内の自然景観や歴史・文化等の資源を保全・活用し、地域の活性化を図るため、自然観察会や歴史探索ウォーキング等のイベントをいずみグリーンビレッジ協力員と協力して実施した。	平成17年度	自然観察会：1回 歴史探索ウォーキング：2回	いずみグリーンビレッジ協力員	事業活動への協力、事業に関する意見交換や提案	協力員への依頼、事業運営	95	経済農政局 農業経営支援課
3	富田町コスモス育成	遊休農地の有効活用、都市部と農村部の交流及び地域の活性化を図るため、富田町におけるコスモスの育成を、地域住民やボランティアと協力して実施した。	平成14年度	育成期間：4月～10月 コスモスまつり：10月 参加者数：延べ298人	コスモスまつり実行委員会	ボランティアの募集、コスモスの育成、イベント運営等	広報活動、補助金の交付	71	経済農政局 農業経営支援課

（4）支援・補助

市民が自発的・自主的に行う事業に対し、市が物的支援や財政的支援などを行うものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
1	千葉都心イルミネーション	中心市街地の活性化を図るため、地元商店街や関係団体で組織する実行委員会が行う事業に対して、経費の一部を支援するとともに、助言を行った。	平成2年度	中央公園、中央公園プロムナードにおいて、イルミネーションを実施 実施期間：11月30日～2月3日（66日間）	千葉都心イルミネーション実行委員会に所属する各商店街等	7,500	経済農政局 産業支援課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
2	地域で取組む農村環境保全活動	農業、農村の有する多面的機能を維持するため、地域内の農業者等が共同で取り組む農地の草刈りや水路の泥上げなどの地域活動に対し、交付金を交付した。 根拠要綱等：多面的機能支払交付金実施要綱、多面的機能支払交付金実施要領	平成19年度	7団体	農業者等で構成する団体	9,199	経済農政局 農政課

4　市民と職員の意識向上と人材育成

市民参加・協働を着実に推進するため、市民と職員の意識向上と人材の育成に取り組むものです。

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
1	訪日外国人旅行者向け観光ボランティアガイド養成事業	市内訪日外国人宿泊客の滞在機会の創出及び市内滞在時間の延長、本市観光に対する満足度向上、本市のＰＲ・イメージアップを図ることを目的とし、訪日外国人向けの観光ボランティアガイドとして活躍できる人材を育成し、外国人向けのボランティアガイドツアーを実施した。 対象：市内在住・在勤・在学者	平成29年度	4月～3月	15	48	経済農政局 観光プロモーション課
2	森林ボランティア技術研修	森林の保全整備を行う森林ボランティアを養成するため、必要な知識・技術の習得を目的とした技術研修を開催した。 対象：市内在住・在学・在勤者	平成12年度	9月	1	10	経済農政局 農業経営支援課
3	森林ボランティア安全研修	森林内作業の安全を図り、ボランティアによる森林の保全、管理を推進するため、林業機械操作の実習やリスクアセスメントに関する講義を内容とする安全研修を開催した。 対象：森林ボランティア団体	平成16年度	6月	1	19	経済農政局 農業経営支援課
4	農業ボランティア制度	農業作業希望者が、農作業をスムーズに行うことができるようにするため、農業の基礎知識の習得を目的とした研修を開催した。 対象：市内在住者	平成24年度	5月 6月	2	13	経済農政局 農業経営支援課

【都市・建設】

1　市民参加の取組み

市民の豊かな知識や社会経験を市政に生かすため、市の施策に対し市民が意見や提案をする手続です。

（1）パブリックコメント手続

市の重要な施策を決定する際に、施策案を公表して広く市民の意見を募集し、提出された意見を考慮して施策を決定するとともに、意見に対する市の考え方を公表する手続です。

番号	項　目	概　　要	実施時期（意見募集）	意見提出者数（人）	意見数（件）	所管課
1	**立地適正化計画の策定**	集約型都市構造を実現するため、生活利便施設や居住を緩やかに公共交通沿線や生活機能拠点へ誘導することを目的にした立地適正化計画の策定に当たり、パブリックコメント手続きを実施した。	12月～1月	42	150	都市局 都市総務課
2	高齢者居住安定確保計画の改定	高齢者居住安定確保計画の改定にあたり、パブリックコメントを実施した。	6月～7月	1	1	都市局住宅政策課 保健福祉局高齢福祉課
3	**千葉市空家等対策計画の策定**	千葉市空家等対策計画の策定にあたり、パブリックコメントを実施した。	6月～7月	3	13	都市局 住宅政策課
4	千葉市営住宅長寿命化・再整備計画の改定	平成24年に策定した現計画の「千葉市営住宅長寿命化・再整備計画」を、社会情勢の変化への対応や関連計画との整合を図るため、国の指針に基づき改定した。	5月	8	9	都市局 住宅整備課
5	千葉市無電柱化推進計画の策定	都市防災機能の向上に資する無電柱化を推進するため、基本方針、整備路線、期間等を定めた「千葉市無電柱化推進計画」を策定した。	3月～4月	0	0	建設局 土木保全課
6	自転車走行環境の整備計画の改定	平成25年に策定した「ちばチャリ・すいすいプラン」について、５年が経過したことから、PDCAサイクルによる見直しを行った。	2月～3月	1	2	建設局 自転車政策課

（２）公募委員を含む附属機関

附属機関とは、法律や条例に基づいて設置する審議会などをいいます。公募による市民が委員に加わる附属機関において施策の調査、審議等を行うことを市民参加手続として捉えています。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	委員数（人）	うち公募委員数（人）	所管課
1	都市計画審議会	都市計画法に基づき、都市計画に関する事項の調査審議を行った。 （委員23人中3人が公募委員）	5月 12月 1月	3	23	3	都市局 都市計画課
2	景観総合審議会	屋外広告物及び景観に関する円滑な行政運営を図るため、その権限が属された事項を調査審議した。 （委員16人中2人が公募委員）	8月	1	16	2	都市局 都市計画課 都市景観デザイン室
3	自転車等駐車対策協議会	公共の場所における自転車等の放置を防止し、市民の生活環境の保全と都市機能の維持を図るため、自転車等の駐車対策に関する重要事項を調査審議した。 （委員17人中2人が公募委員）	7月 11月	2	17	2	建設局 自転車政策課
4	下水道事業経営委員会	下水道事業の健全な経営基盤の確立を図るため、下水道事業中長期経営計画に基づく事業の執行について評価・検証を行った。 （委員10人中3人が公募委員）	10月 3月	2	10	3	建設局 下水道経営課

（３）ワークショップ

市民と職員、あるいは市民同士が、議論や作業を重ねながら意見をまとめていく会合をいいます。参加者が対等な立場で自由に意見を出し合い、お互いの考えを尊重しながら合意形成していきます。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
1	海辺の活性化検討会	平成27年度に策定した海辺のグランドデザインの各種活性化方策の実現に向け、地域が自主自立的に活性化に取り組むための組織を設置し、ソフト事業の企画・実践を行った。 構成員：市民、まちづくり団体など	4月～7月	5	延べ42	都市局 海辺活性化推進課

（4）意見交換会

市民と職員、あるいは市民同士が市の施策について意見を交換する手続です。また、施策に対する市民の理解を得るために行う説明会の中で、意見の聴取や意見の交換を行うものもあります。

番号	項　目	概　　要	実施時期	開催回数（回）	参加者数（人）	所管課
1	交通安全総点検	地域の人々や道路利用者の主体的な参加のもと、地域の交通安全を確保するため、特定地域内における道路交通環境について、道路利用者のそれぞれの立場から点検を行った。 対象：地域住民、障害者団体、学校関係等	9月	1	4	建設局 土木保全課 美浜区 地域振興課
2	新港横戸町線連絡協議会	新港横戸町線に関わる道路の整備において、地域のニーズを反映した道づくりを推進するために意見交換会を行った。 構成員：沿道の11町内自治会会員と2事業者の代表	8月	1	15	建設局 道路計画課

（5）意見募集

市の施策に対する市民の意見を募集する手続です。パブリックコメント手続も市民の意見を募集する手続ですが、この「意見募集」はパブリックコメント手続を除いたものとしています。

番号	項　目	概　　要	実施時期	意見提出者数（人）	意見数（件）	所管課
1	**立地適正化計画方針案に関する意見募集**	集約型都市構造の実現を目指し、居住や都市機能を誘導することを目的にした立地適正化計画の策定に当たり、方針案について意見を募集した。 対象：市民	6月～7月	9	40	都市局 都市総務課
2	都市計画の決定・変更に係る公告・縦覧	都市計画の決定・変更に際し、広く市民に理解してもらい、意見を聞くため、案の公告・縦覧を実施した。 対象：住民及び利害関係人	6回	3	1	都市局 都市計画課

（7）その他の市民参加手続

その他の市民参加手続として、次のものを実施しました。

番号	項　目	概　　要	実施時期	意見数（件）	所管課
1	園長への手紙等	来園者の目線に立った施設整備や運営を行うため、動物公園に対する要望、提案、意見等を動物公園内の科学館に備え付けた投書箱や電子メールで受け付けた。	通年	149	都市局 動物公園

２　協働の取組み

市民と市が力を合わせて様々な公共の課題を解決するものです。

（２）共催

市民と市が共に主催者（事業の実施主体）となって、事業を実施するものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	港まつり	市民が千葉港の現状や海事に関する理解を深め、千葉港の利用促進を図るため、千葉商工会議所、㈱千葉日報社、港湾関係団体等と市による実行委員会が、千葉港見学会などのイベントを開催した。	昭和28年度	(港内見学会) 開催日：8月3～4日 乗船者数：550人 その他：ポートクイーン5人選出	千葉港振興協会	参加者、観覧者の募集、企画、運営	補助金の支出、広報の協力	352	都市局 海辺活性化推進課
2	ちばＺＯＯフェスタ	世代を超えた地域の絆を深め、秋の風物詩として新たな動物文化の振興と醸成を推進するため、園内事業者を中心とする実行委員会との共催で、動物や動物園をテーマに各種イベントを実施した。	平成22年度	開催日：11月3～4日 来園者数：10,034人 イベント参加者数：5,012人	千葉市動物公園ボランティア	案内誘導・イベント補助	イベント企画、運営、広報	1,300	都市局 動物公園
3	ドリームナイト・アット・ザ・ズー	障害のある子どもたちとその家族を招待し園内で気兼ねなく楽しいひと時を過ごしてもらうため、淑徳大学及び企業との共催で、ドリームナイト・アット・ザ・ズーを開催した。	平成22年度	開催日8月22日 来園者数：892人	共催：淑徳大学 協賛：ジブラルタ生命 公募協賛：人的協賛、物的協賛、協賛金	小動物とのふれあい補助、金管アンサンブル、バルーンアート等のイベント開催、受付、休憩所業務	全体企画、来園者との連絡調整	0	都市局 動物公園

（３）事業協力

市民と市が相互の役割分担を定め、協力して事業を実施するものです。ただし、「共催」に該当するものは除きます。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
1	屋外広告物除去活動	屋外広告物の適正化を推進するため、講習会を受講して違反広告物の簡易除去権限を委任された市民と協力し、日常的に除去活動を展開した。	平成14年度	屋外広告物適正化推進員講習会3回開催 参加者：延べ25名 推進員：計79名（H30年度末）	市民、自治会、企業	違反広告物の簡易除去	腕章・用具の貸与、違反広告物の処分	29	都市局 都市計画課 都市景観デザイン室
2	ウェストリオテナント会活動	千葉駅西口エリアの魅力・価値向上を目指して、ウェストリオに入居するテナントと協力し、ウェストリオ２共用部でのマルシェ（きずな市）を実施した。	平成26年度	きずな市	ウェストリオテナント会	企画・運営	ビル共用部の活用推進	0	都市局 都心整備課

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
3	パラソルギャラリー	中心市街地の賑わいを創出するため、パラソルギャラリー実行委員会と協力して、歩道上にパラソルを設置し、パラソル下の空間を「アートスペース」として活用した。	平成12年度	10月	パラソルギャラリー実行委員会	企画・運営	市政だよりへの掲載、道路占用申請等行政手続きの助言	0	都市局 都心整備課
4	かざぐるまプロジェクトボランティア	ジェフ千葉のホームタウンである蘇我のまちを盛り上げるため、ホームゲーム開催時に地元住民や大学等と協力し、ＪＲ蘇我駅からフクダ電子アリーナまでの沿道にジェフ色（黄色）のかざぐるまを掲出し、まちをジェフ色に彩った。	平成26年度	年22回（3月～11月）、参加者：延べ428人	Let’s enjoy そが、ボランティア	かざぐるまの掲出、作成	参加者の調整、かざぐるまの掲出補助	―	都市局 市街地整備課
5	花のあふれるまちづくり事業	花のあふれるまちづくりを推進するため、市民団体等と協力して、露地やプランター、街路樹桝で花壇づくりを行った。	平成15年度	花苗配布：約47,000株 年2回（計94,000株配布）	手づくり花壇団体等	花苗植付、管理	花苗助成	10,728	都市局 緑政課
6	市民の森清掃	自然環境の保全を図るとともに、市民に自然に触れあういこいの場を提供するため、市が指定した市民の森の清掃等を町内自治会、老人会、ボーイスカウト等と協力して行った。	昭和62年度	9団体 各団体毎月2回活動 参加者数：延べ2,300人	市民の森維持管理団体	清掃、施設点検	ゴミ袋の支給、回収、清掃用具の貸与	2,706	都市局 公園管理課
7	パークマネジメント	公園を地域の庭として、もっと身近で魅力ある空間にしていくためのモデル事業として、清掃のみならず、低木剪定や利用調整などを地域住民と協力して行った。	平成24年度	17団体（22公園）	パークマネージメント団体	清掃、低木剪定、利用調整	活動支援と団体が行うことができない維持管理業務	44	都市局 公園管理課
8	公園清掃	地域の公園の環境維持及び公園に対する愛護精神の醸成を図るため、公園の清掃や除草を始めとした維持管理を町内自治会、子ども会等の団体と協力して行った。	昭和46年度	月2回以上の清掃及び除草	周辺の町内自治会、ボランティア団体など273団体	清掃、除草	ゴミ袋の支給、回収	22,819	都市局 各公園緑地事務所
9	千葉公園管理	千葉公園内の花壇づくり団体（千葉公園花の輪）と千葉公園ボランティアと協力して、園内の花壇の拡充や清掃・低木刈込等の管理を行った。	平成17年度	花壇管理	花の輪、千葉公園ボランティア	花壇の維持管理（月2～4回）	花の種、堆肥、培養土の支給	333	都市局 中央・稲毛公園緑地事務所
10	花島公園市民花壇管理	四季を通して花を楽しむことができるよう、花島公園内の市民花壇の花苗の育成、維持管理をボランティア団体と協力して行った。	平成19年度	月1～2回以上の定例会（その他、適宜、水やり） 会員：20名	花島はなの会	種苗の育成、植付 除草等、花壇の管理	種苗、肥料、薬剤の支給 必要用具の貸与	―	都市局 花見川公園緑地事務所
11	泉自然公園の野草管理	泉自然公園の来園者が野草に親しめるよう、野草園の整備や清掃等の維持管理をボランティア団体と協力して実施した。また、園内に自生する野草の管理や、新たな「ヤマユリの名所」づくりを協働で行った。	平成12年度	毎月2回	千葉の自然に親しむ会	野草園維持管理 清掃・除草・野草の手入れ	資材・用具提供	0	都市局 若葉公園緑地事務所
12	泉自然公園ボランティアガイド	泉自然公園の魅力を知ってもらうため、ボランティアガイド養成講座受講者の協力により、野草や野鳥のガイドを実施した。	平成25年度	野鳥ガイド：36回 野草ガイド：20回	ボランティアガイド登録者	来園者へのガイド	広報・実施日調整	256	都市局 若葉公園緑地事務所

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
13	昭和の森花壇づくり	四季を通して花を楽しむことができるよう、昭和の森園内の花壇の整備や花苗の植え込み、育成をボランティア団体と協力して実施した。	平成22年度	昭和の森内花壇の整備・花苗の植込み・育成（毎週１回程度）	昭和の森「花うさぎの会」	花壇計画及び管理作業の協力、資材等の提供、広報・記録等	会議室・資材等の提供、作業の協力	0	都市局 緑公園緑地事務所
14	昭和の森自然観察会	自然保護に関する意識を高めるために、環境活動団体と協力し、昭和の森で自然観察会やカタクリ観察ガイド、親子田んぼ教室、ホタル観賞会等を実施した。	平成3年度	自然観察会：12回 親子田んぼ教室：3回 カタクリ観察会：1回 ゲンジボタル観察会：1回 その他：自然環境整備等	千葉県自然観察指導員協議会	自然観察会の企画・開催、管理作業の実施	自然観察会の開催及び管理作業の役務等の提供、広報	223	都市局 緑公園緑地事務所
15	泉谷公園ほたるの里づくり	ホタルとの触れ合いを通して自然への愛着を深めるため、ホタルに関連する地域イベントや、ホタル生育に関する学習会の開催等を市民団体と協力して行った。	平成22年度	イベント(ほたるの道しるべ)の開催：1回 ほたる生態園の見学及び育成に関する学習会の開催：随時	ほたるの里おゆみ野子どもまちづくりクラブ	イベント準備・運営、ほたる生態園における見学・学習会の開催	活動の際の会場・資材・役務等の提供及びほたる生育に関する情報提供	0	都市局 緑公園緑地事務所
16	あすみが丘地区コミュニティガーデン整備	花とみどりのあふれる街づくりを推進するため、あすみが丘地区内の公園花壇の整備や維持管理を、地域住民で組織する団体と協力して行った。	平成22年度	あすみが丘地区の公園整備予定地内の花壇管理・花苗育成等（通年）	あすみが丘イースト・ガーデンクラブ	花壇計画及び管理作業の協力、資材等の提供、広報、記録等	公園内使用許可、会議室貸出、作業協力	0	都市局 緑公園緑地事務所
17	昭和の森ビオトープの会	千葉市の原風景である里山や谷津田が残された昭和の森の自然環境を守り続けるため、昭和の森ビオトープの会と協力し、田んぼづくりを行い、自然のビオトープとして保全・管理した。	平成23年度	昭和の森ビオトープの管理作業(毎月2回程度)	昭和の森ビオトープの会	ビオトープの管理作業、人員募集、運営事務、広報等	資機材・役務等の提供、広報、会議室貸出等	0	都市局 緑公園緑地事務所
18	おゆみ野フォーシーズンプロジェクト	優れた緑と水辺の環境を維持向上させるために、市民団体と協力して、「おゆみの道」の清掃・観察を行った。	平成24年度	清掃活動 (月1回以上) 樹名板の設置等	おゆみ野の道緑とせせらぎの会	チラシ・ポスターの作成及び配布、住民参加の企画調整、清掃作業の準備・実施、日常点検等	資料・資機材及び会議室貸出・清掃用具保管場所の提供・広報活動に関する連絡調整・ごみの回収処理等	177	都市局 緑公園緑地事務所
19	稲毛海浜公園の樹木管理	海浜公園の環境維持及び公園に対する愛着心の醸成を図るため、樹木の剪定や伐採等の維持管理を地域住民と協力して行った。	平成23年度	毎週木金活動	まつかぜクラブ	園内樹木の剪定、清掃等	技術指導及び活動に係る道具の貸出	0	都市局 美浜公園緑地事務所

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手について			市事業費（千円）	所管課
					団体名など	役割分担			
						協働相手側	市側		
20	稲毛海浜公園花壇管理	四季を通して花を楽しむことができるよう、稲毛海浜公園内の花壇の植栽、維持管理をボランティア団体と協力して行った。	平成23年度	月1回	ひまわりの会	花壇の植栽、維持管理	資材の提供	0	都市局 美浜公園緑地事務所
21	都川水の里公園整備事業	千葉県が整備している多目的遊水地を活用し、水辺に親しむ総合公園を整備するに当たり、田んぼづくりや野草の調査、種の採取等を地元小学校の児童、地域住民、市民団体の協力により実施した。	平成19年度	通年	NPO都川の環境を考える会、ジュニアクラブ、たんぽぽクラブ、体験講座修了者グループ,都小学校	稲作作業全般	稲作作業全般、稲作資材・農機具貸与、苗・肥料の提供	789	都市局 若葉公園緑地事務所
22	手づくり公園の設置促進事業	市民が主体となって、公園の計画から、公園の整備、完成後の管理運営まで取り組む事業を実施した。	平成25年度	月1～4回程度の活動 活動人数：10～30人／回 (H30.4月からスタート)	周辺の町内自治会、ボランティア団体	地域で実施可能な施設整備	規模の大きな施設整備 協働相手側への資材の提供	8,459	都市局 公園建設課
23	動物公園花壇管理	宿根草や山野草を生かし、来園者を各ゾーンへ誘う花の道しるべを作るため、園内の花壇管理をボランティア団体と協力して行った。	平成24年度	動物公園内の花壇の設置、管理	HANA+、生活支援クラブラルゴ	花苗育成、調達、花壇への植付、管理	花壇（場所）の提供	0	都市局 動物公園
24	動物解説・園内ガイドボランティア	来園者の満足度の向上を図り、動物に対する関心をより高めるために、動物公園ボランティアと協力し、動物公園の案内やイベントの補助、動物の解説等を行った。	平成25年度	来園者サービスの提供	千葉市動物公園ボランティアーズ	動物の解説・園内案内・イベント補助 美化業務	ボランティア研修会 懇談会開催	0	都市局 動物公園
25	花のあふれる道づくり事業	花のあふれる親しみのある道づくりを目指し、各区の主要な駅前広場に設置したプランターやベンチの花の管理及び定期的な花の植付け作業を、地元商店会や町内自治会などと協力して実施した。	平成14年度	JR鎌取駅他5か所	花のほまれ会他	散水や花の手入れ	プランターやベンチの提供、管理補助	13,573	建設局 土木管理課
26	道路施設への落書き防止事業	道路施設への落書き防止を図るため、地元中学校や塗装協同組合と協力して、道路施設への壁画の作成を実施した。	平成18年度	実施日：10月20～21日 参加者：37人	市立稲毛中学校、千葉市中央塗装協同組合	壁画作成、塗料の提供・配合	交通誘導等安全対策、地元調整	432	建設局 土木保全課
27	こてはし台調整池の水辺づくり	調整池の多目的利用の一つとして、市民が親しめる水辺となるよう、調整池内の草刈、清掃などの維持管理を、地元町内自治会及び地元小学校の児童と協力して行った。	平成20年度	年2回（7月,10月） 実施参加者：延べ218人	こてはし台調整池水辺を守る会、こてはし台小学校	清掃、施錠	除草、施錠	100	建設局 下水道維持課
28	せせらぎと心をいやす中溝花街道の実現	水路の暗渠（アンキョ）化に伴う上部の有効利用として、市民が親しめる水辺となるよう、せせらぎ水路の清掃などの維持管理を、地元町内自治会と協力して行った。	平成20年度	年1回(10月) 実施参加者：延べ8人	鶴沢町内自治会	清掃	清掃、施設の修繕・改良・改築	0	建設局 下水道維持課

（4）支援・補助

市民が自発的・自主的に行う事業に対し、市が物的支援や財政的支援などを行うものです。

番号	項　目	概　　要	協働の開始年度	事業の実績	協働相手	市事業費（千円）	所管課
1	「やってみようよまちづくり」支援制度	地域の特性と意向を踏まえた住みよいまちづくりを進めるため、市民自らが地域において行うまちづくり活動等に対し、専門的知識を有する人材の派遣や各種講座を実施した。 根拠要綱等：やってみようよまちづくり支援制度要綱	平成14年度	出前講座：4回 公開講座：1回 アドバイザー派遣：2回 活動支援：0回	自治会・市民団体	90	都市局 都市計画課
2	千葉都心地区循環バス等運行支援事業補助金	中央公園周辺の回遊性や活性化の向上、観光施設とのアクセス強化のため、千葉都心地区内での循環バス運行に係る経費の一部を助成した。 根拠要綱等：千葉都心地区循環バス等運行支援事業補助金交付要綱	平成29年度	1団体	千葉市中心市街地東口エリア循環バス運行協議会	5,000	都市局 都心整備課
3	市民緑地維持管理活動	市民緑地を良好な状態に保全するため、地域住民が行う清掃、草刈、中低木の剪定等に対し、ごみの回収、報償金の交付を行った。 根拠要綱等：市民緑地設置事業実施要綱、市民緑地の維持管理に関する協定	平成18年度	活動団体数：28団体（毎月2回以上活動） 参加者数：延べ5,600人	市民緑地維持管理団体	8,135	都市局 公園管理課
4	緑化推進協議会事業	緑豊かな街づくりを推進するため、都市緑地法に基づく緑地協定を結んだ地域及び、本協議会の目的に賛同した地域・個人により構成される協議会が実施する、樹木診断、講習会等に対し、運営を支援するとともに、補助金を交付した。 根拠要綱等：緑化推進協議会事業補助金交付要綱	昭和53年度	1団体	千葉市緑化推進協議会	93	都市局 緑政課
5	ちばし道路サポート制度	地域と市の協働体制を確立し、身近な道路の適正利用や地域の活性化を図るため、道路清掃・除草等を行う市民団体等に対し、活動に必要な物品の貸与・支給を行った。 根拠要綱等：ちばし道路サポート制度実施要領	平成26年度	195団体	ボランティア団体	487	建設局 土木管理課 各土木事務所
6	自転車を活用したまちづくり事業補助金	自転車を活用したまちづくりの総合的な推進を図るため、市内で実施する自転車の利用促進及び安全利用に関する事業のうち、効果が期待できるものに対して補助金を交付した。 根拠要綱等：千葉市自転車を活用したまちづくり事業補助金交付要綱	平成30年度	1団体	市民団体	300	建設局 自転車政策課

4　市民と職員の意識向上と人材育成

市民参加・協働を着実に推進するため、市民と職員の意識向上と人材の育成に取り組むものです。

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
1	まちづくり公開講座	まちづくり活動の進め方など、まちづくり活動に関する知識の普及や情報の提供を行い、まちづくりを担う人材を育成するために、講座を開催した。 対象：市内在住、在勤、在学者	平成18年度	11月	1	12	都市局 都市計画課

番号	項　目	概　　要	開始年度	実施 時期	講座数（講座）	参加者数（人）	所管課
2	緑と花の地域リーダー養成講座	市民自らが意欲的に「緑と花の地域リーダー」として活動するために必要な講座を開催した。 対象：すでに行っている緑と花の活動のレベルアップを目指す方、これから活動してみたい方	平成14年度	5月～7月 （前期） 8月～10月 （後期）	21	9	都市局 緑政課
3	**ハス守さん養成講座**	オオガハスを始めとするハスの知識や栽培方法の取得を目的とした人材を養成し、栽培地におけるガイドやイベントへ従事するボランティアとして参加を促した。	平成30年度	通年	8	14	都市局 緑政課
4	動物公園ボランティア育成事業	来園者の満足度の向上を図り、動物に対する関心をより高めるために、ボランティアが自主的に活動できるよう、動物公園の案内や動物の解説等を行うのに必要な知識の習得を目的とした講習を行った。 対象：動物公園ボランティア	平成25年度	通年	24講座 （毎月2講座）	延べ300（25人×12か月）	都市局 動物公園